行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事

図 面 リ ス ト

図面番号	図　面　名　称	図面縮尺
Ｐ－00	表紙・リスト	No Scale
Ｐ－01	機械設備特記仕様書（１）	No Scale
Ｐ－02	機械設備特記仕様書（１）	No Scale
Ｐ－03	工事区分表	No Scale
Ｐ－04	配置図	A1=1/200　A3=1:400
Ｐ－05	凡例、器具表	No Scale
Ｐ－06	機器表、衛生設備系統図	No Scale
Ｐ－07	衛生設備　１階平面図	A1=1/150　A3=1:300
Ｐ－08	衛生設備　２階平面図	A1=1/150　A3=1:300
Ｐ－09	衛生設備　屋階平面図	A1=1/150　A3=1:300
Ｐ－10	厨房　給排水設備配置図	A1=1/100　A3=1:200
Ｐ－11	厨房　給水・給湯設備配管図	A1=1/100　A3=1:200
Ｐ－12	厨房　排水設備配管図	A1=1/100　A3=1:200

図面番号	図　面　名　称	図面縮尺
Ｐ－13	厨房　給蒸設備配管図	A1=1/100　A3=1:200
Ｐ－14	衛生設備　１階便所詳細図	A1=1/50　A3=1:100
Ｐ－15	衛生設備　２階便所詳細図	A1=1/50　A3=1:100
Ｐ－16	衛生設備　車庫・蒸気源機械室平面図	A1=1/150　A3=1:300
Ｐ－17	蒸気源設備図	A1=1/100　A3=1:200
Ｐ－18	エコキュート設備図	A1=1/50　A3=1:100

特記事項

アトリエＢＢＳ株式会社
１級建築士　第159250号　原　澄雄

設計	検図	施設名	行橋市学校給食センター				P	No. 00
製図	担当	工事名	（仮称）行橋市学校給食センター新築給排水設備工事	図面名	図面リスト	縮　尺	ＮＯ　ＳＣＡＬＥ	２０１２年　３月

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ．工 事 名 称　　行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事

Ⅱ．工 事 概 要

1．工 事 場 所　　福岡県行橋市東大橋六丁目　３２７８－１、３３０３－１、３３０４－３、３４４４の一部

2．建 物 概 要

建　物　名　称	構　造	階　数	延面積(m^2)	防火対象物の種別	戸数・浄化槽人槽 受水槽有効容量等
共同調理場	Ｓ造	２階	３９８６．９９		
車庫・設備棟	Ｓ造	１階	５０２．１５		

3．工 事 種 目　（◎印を付けたものを適用する）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工　事　種　別				
	共同調理場	車庫・設備棟			屋　外
◎ 衛 生 器 具 設 備	新設 一式	一式	一式	一式	
◎ 給 水 設 備	新設 一式	新設 一式	一式	一式	新設 一式
◎ 排 水 設 備	新設 一式	新設 一式	一式	一式	新設 一式
◎ 給 湯 設 備	新設 一式	一式	一式	一式	
◎ 消 火 設 備	新設 一式	一式	一式	一式	一式
・ ガ ス 設 備	一式	一式	一式	一式	一式
・ 換 気 設 備	一式	一式	一式	一式	
・ 空 気 調 和 設 備	一式	一式	一式	一式	
・ 排 煙 設 備	一式	一式	一式	一式	
◎ 給 蒸 設 備	新設 一式	新設 一式	一式	一式	新設 一式
・ 除 外 処 理 設 備					一式
・ さ く 井 設 備					一式
・ 電 気 設 備 工 事 ※	一式				一式
・ 建 築 工 事 ※	一式				一式

※　各工事の特記仕様書を確認のこと

4．本 工 事 設 備 概 要　（・印を付ける）　　※　△を付けたものは既設設備とする。

給排水衛生設備	給 水 方 式	上水水源（◎ 市水　・ 井水　・ 小規模簡易　・ 簡専　・ 専用水道） ・ 上水道直結直圧方式　・ 直結増圧給水方式　◎ ポンプ回転数制御方式 ・ 高架水槽方式（ ・ 市水　・ 井水　・ 中水） ・ 圧力水槽方式（ ・ 市水　・ 井水　・ 中水）
	排 水 方 式	・ 建物内汚水と雑排水（ ・ 分流　◎ 合流） ◎ 重力式　・ ポンプアップ式　　厨房排水 ・ 敷地外放流方式　◎ 直放流（ ・ 合流式　・ 分流式）　◎ 非直放流（除外施設）
	除 外 施 設 の 形 式	・ ユニット型　・ 現場施工型　・ 放流水質BOD　mg/L ・ 合併処理
	給 湯 設 備	・ 局所式　◎ 中央式
	消 火 設 備 の 種 別	・ 屋内消火栓（◎1号・2号・易操作性1号）　・ｽﾌﾟﾘﾝｸﾗｰ　・ 連結散水　・ 連結送水 ・ 屋外消火　・ 水噴霧消火　・ 泡消火　・ 不活性ｶﾞｽ　・ ﾊﾛｹﾞﾝ化物消火　◎ 小形消火器
	ガ ス の 種 別	・ 都市ガス　・ 液化石油ガス　・ 簡易ガス
空気調和設備	空 調 方 式	・ ダクト方式　・ ファンコイルユニット　・ ダクト併用方式 ・ パッケージ方式（ ・ 中央式　・ 各階式　・ 個別式） ・ 直接暖房（ ・ 蒸気　・ 温水） ・ 温風暖房　・ 暖房専用　・ 将来冷房可能 ・ 温風暖房機　・ 空気調和機
	主 要 熱 源 機 器	・ 温水　・ 蒸気 ・ 鋳鉄製ボイラ　・ 鋼製ボイラ（ ・ 立てボイラ　・ 炉筒煙管式ボイラ） ・ 温風暖房機　・ ヒートポンプチラー（ ・ 水冷　・ 空冷） ・ 往復動冷凍機　・ 遠心冷凍機　・ 吸収冷凍機　・ 直だき吸収冷温水機
	全 熱 交 換 器	・ 回転形　・ 静止形
	換 気 設 備	・ 機械換気（ ・ 有　・ 無）
	排 煙 設 備	・ 機械排煙（ ・ 有　・ 無）　・ 法規（ ・ 建基法　・ 消防法）

5．法令による区画（有の場合は、図示等による）

建 築 基 準 法	防火区画	112条区画（◎有　・無）
		114条区画（ ・有　・無）
	延焼のおそれがある部分（ ・有　・無）	
	排煙区画（ ・有　・無）	
消　防　法	令8区画（ ・有　・無）	
	共住区画（ ・有　・無）	
そ の 他 の 区 画		

6．その他（工事内容、留意事項等）

※工事内容、留意事項等を必ず記載のこと。

Ⅲ．工 事 仕 様

1．共 通 仕 様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部整修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編　平成22年版）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編　平成22年版）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編　平成22年版）、同標準仕様書（建築工事・電気設備工事編　平成22年版）、同建築改修工事標準仕様書（建築工事・電気設備工事編　平成22年版）、国土交通省住宅局住宅総合整備課監修公共住宅建設工事共通仕様書（平成22年版）並びに福岡県建築都市部営繕設備課編集建築工事の手引きによる。

2．特 記 仕 様

（１）章および項目は番号に ◎印のついたものを適用する。

（２）特記事項のうち選択する事項は、原則として※印を選択するが、それ以外を適用する場合は　◎印をつけて選択する。

（３）図面に明記なくも関係法規上・機能上・意匠上当然と認められるものは、本工事にて施工すること。

（４）共用錠の仕様については、監督職員（係員）の承諾を受けること。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般事項	1．発生材の処理	※18建設副産物の処理についての項を適用すること。 ※フロンの処理は、19フロン処理についての項を適用のこと。
	②　残土処分	※構外搬出　◎構内散き均し　・
	③　工事実績情報の登録（工事カルテ）	請負者は、工事請負額が500万円以上の工事について、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、竣工時は竣工後10日以内に、工事情報サービス（CORINS）に基づき、「建設実績情報」を作成し、建築都市部建築都市総務課契約係の確認を受けた後に、（財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」の写しを建築都市総務課契約係に提出しなければならない。 問い合わせ先　〒812-0016　福岡市博多区博多駅南1－3－11博多南ビル8階 （財）日本建設総合情報センター九州地方センター ＴＥＬ　092-411-3473　　ＦＡＸ　092-411-3486
	④　官公署その他への手続き	この工事に必要な官公署その他の関係機関への諸手続等は、これに必要な資機材、労務、及び費用を請負者の負担にて速やかにおこない、その検査に合格すること。
	⑤　工 事 写 真	建設大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真の撮り方（改訂第2版）建築設備編」及び福岡県建築都市部営繕設備課編集建築設備工事の手引きによる。
	⑥　測　定　表	下記の測定表を提出すること。 ・温度　・湿度　・風量　◎騒音　◎水圧　・排水満水　◎気密　・浄化槽放流水質 マイクロフィルム及び電子データを作成して提出する。仕様については福岡県建築都市部営繕設備課編集建築設備工事の手引きによる。※費用は請負者の負担とする。
	⑦　完 成 図 等	
	⑧　他工事との取合い	※施工区分表による　・図面詳細による
	⑨　技能士の適用	住宅においては20戸以上、住宅以外の建物については1,500m^2以上の工事に適用する。 ◎配管（建築配管作業）　・建築板金（ダクト板金作業）　◎熱絶縁施工（保温保冷工事作業） ・冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工作業）
2 仮設工事	①　監督員事務所	※設けない　・設ける　（　10 ㎡程度）　備品については監督員の指示による。
	②　工事用電力・水・その他	この工事に必要な工事用電力（仮設及び試運転調整用電力を含む）、水（機能検査、消火用水及びプールの水張りを含む）及び諸手続などの費用は、すべて請負者の負担とする。
	③　工 事 表 示 板 等	監督員の指示による。
	④　足　　場	◎他工事　　・本工事（詳細図による。）
	５．矢　　板	掘削深さ（1,500 mm以上）の掘削には矢板を使用すること。
3 共通事項	①　機　　材	この工事に使用する機材は、監督職員（係員）の承認を受けること。
	②　容量等の表示	なお、材料及び製品については、地域産材の使用に努めること。 イ）機器類の能力、容量等（電動機出力は除く）は、原則として、表示された数値以上とする。 ロ）電動機出力は、原則として、表示された出力以下の容量とする。 ハ）電動機の周波数は、60Hzとする。
	③　耐 震 施 工	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2005年版（国土交通省国土技術政策総合研究所監修）」による。 （１）設計用水平地震力 機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯蔵にあっては有効重量）〔kgf〕に、次に示す設計用標準震度を乗じたものとする。 局部震度法による建築設備機器の設計用標準震度（Ks）

設置場所	耐震安全性の分類							
	◎特定の施設				・一般の施設			
	重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽	重要機器	重要水槽	一般機器	一般水槽
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	2.0	1.5 (2.0)	1.5	1.5 (2.0)	1.5	1.0 (1.5)	1.0
中間階	1.5 (1.5)	1.5	1.0 (1.5)	1.0	1.0 (1.5)	1.0	0.6 (1.0)	0.6
地階及び1階	1.0 (1.0)	1.5	0.6 (1.0)	1.0	0.6 (1.0)	1.0	0.4 (0.6)	0.6

（　）書きの数値は防振機器

＊特定の施設
・避難所として位置づけられた施設（学校等）
◎災害応急対策活動に必要な施設
・人命及び物品の安全確保が特に必要な施設

＊上層階の定義は、次のとおりとする。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階

＊次に示すものは、重要機器、重要水槽とする。
◎　受水槽、屋内消火ポンプ、ｴﾏｰｼｭﾄｰ設備、蒸気源設備

（２）設計用鉛直地震力
設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とした値とする。

（３）軽量機器等の耐震施工
重要機器、重要水槽を除く100kg以下の軽量な一般機器、一般水槽の据付け、取付けについては、監督職員（係員）の指示による。

	④　防火区画等を貫通する配管	給水管その他の管が、建築基準法施行令第112条第15項の準耐火構造の防火区画等を貫通する場合の措置は、図ら による。
	⑤　給水管等の材質	飲料用の給水・給湯管、継手、弁類、水栓等については、鉛に関する溶出性能基準を満足すること。
	⑥　ライニング鋼管の継手	呼び径80以下はねじ接合、100以上はフランジ接合とする。（ただし塩ビライニング鋼管以外の鋼管は100までねじ接合可）
	⑦　吊り及び支持等	※鋼材・ボルトナットを屋外又は多湿箇所に使用する場合は、溶融亜鉛メッキ（2種35）又は、ステンレス鋼製（SUS304）とする。
	⑧　埋設標識テープ	埋設深さは150mm、テープ幅は150mm以上（図1-1）とし、色については次による。 上水（青）　ガス（緑）　消火管（赤）　中水（黄色）　油（茶） その他については、監督職員（係員）の指示による。
	⑨　地中埋設標	※標準仕様書による。　・図示による。
	⑩　地中埋設及びコンクリート内の防食	コンクリート内の防食は、防食用ビニルテープ巻（1/2重ね１回巻）とする。 地中埋設は、ペトロタラム系ペーストを塗布のうえ、ペトロラタム系防食テープ1/2重ね１回巻きを行う。さらにプラスチックテープ1/2重ね１回巻きを行う。継手はペトロタラム系防食シートにより包み、プラスチックテープを巻く。
	⑪　コンクリート強度	イ）無筋コンクリートの配合は、1：2：4とする。 ロ）鉄筋コンクリートの設計強度は、18N/mm^2とする。
	⑫　は　つ　り	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の孔開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
	⑬　ポンプ電動機の極数	・揚水ポンプ　　極　・冷温水ポンプ　　極　・冷却水ポンプ　　極 ・水中ポンプ（・上水　・汚水）　　極　◎小形給水ポンプユニット　　極
	⑭　電　線　管	※特記なき電線管は、薄鋼電線管又は同一外径のねじなし電線管とする。 ※可とう電線管は、2種金属可とう電線管とする。
	⑮　電　　線	※特記なき電線は、600Vビニル絶縁電線とする。
4 衛生器具設備	①　大　便　器	・和風大便器（※節水型　・一般型）　※耐火カバー（防火区画貫通部）
	②　大便器洗浄方式	◎洋風大便器（※節水型　・一般型　◎身体障害者用） ◎節水型ＦＶ（バキュームブレーカ付）　・ロータンク
	③　小　便　器	・床置型　◎壁掛型 トラップ（◎着脱式　・固定式）
	④　小便器洗浄方式	◎自動洗浄（個別感知）　◎一体型　・埋込型　・露出型）　・手動洗浄（※節水型ＦＶ）
	⑤　標　示　板	大便器は1組に1個、小便器は2組に1個とする。（※シール　・陶器製　・アクリル製）
	６．洗面化粧台	※洗面化粧台キャビネット部材は、ホルムアルデヒド放散量が日本農林規格（JAS）でF☆☆☆基準のものとする。
	⑦　水　　栓	※節水コマ付　◎普通コマ付
	⑧　鏡	・普通形　・逆難防止用形　◎耐食形　・盗難防止用耐食形　・身体障害者用
	９．化　粧　棚	・露出形　・埋込形
	⑩　水　栓　柱	70°口×1300（※人研製）

5 給水設備	①　量　水　器	◎親メーター（※貸与品　・買取り）　※計量法　検定合格品とする。 ・子メーター（・貸与品　※買取り） ・水道事業者指定品（・貸与品　※買取り）　◎国土交通省型　・その他
	②　量　水　器　桝	
	③　弁　　類	◎水道直結部分　JIS（※10K　・　　） ◎その他の部分　JIS（◎5K　・10K）
	④　弁　　桝	◎塩ビライニング鋼管及びポリ粉体鋼管の配管に取り付ける鋳鉄製の弁はライニング弁とし、青銅製弁は管端防食継手の規定に準じた管端コアを備えたものとする。
	５．配　管　材　料	◎鋳鉄製ストレーナーはライニングを施したものとする。 ◎国土交通省型　図２による。 一般配管　・塩ビライニング鋼管（SGP-VA） ◎塩ビライニング鋼管（SGP-VB）　・ポリ粉体鋼管（SGP-PB） ・硬質塩化ビニル管（HIVP）（屋内）　・鋳鉄管（　　型　　種） ◎ステンレス鋼管（SUS）　（◎圧縮接合　◎溶接接合　・拡管接合） ・架橋ポリエチレン管またはポリブデン管（さや管工法） ※さや管と内管は別々に施工すること。 屋内地中配管　◎塩ビライニング鋼管（SGP-VD）　・ポリ粉体鋼管（SGP-PD） ※プチルゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。 屋外地中配管　・塩ビライニング鋼管（SGP-VD）　・ポリ粉体鋼管（SGP-PD） ・硬質塩化ビニル管（HIVP）　・硬質塩化ビニル管（VP） ※プチルゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。 ◎ポリエチレン管　1種（PE）　（◎溶着接合　・金属継手接合） 厨房、浴室等のシンダー内配管　・塩ビライニング鋼管（SGP-VD）
	６．引込給付金等	※別途
	７．ポンプ基礎	・標準基礎　◎防振基礎
	８．他の設備項目の適用	下記のものは、空気調和設備の当該項目を適用する。 イ）防振継手　ロ）ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ ハ）防振吊り金物及び支持金物（ただし振水管のみ） ※標準図（・（a）　・（b）　※（c）スリークッション）による。
	９．建物導入部配管	◎一般敷地（◎300 mm　・　　mm）　◎構内車両通路（・600 mm　◎ 900 mm）
	10．管の埋設深さ	※用いる（図４による。）　塩ビライニング鋼管と給水栓・銅合金製配管附属品等との接続
	11．器具接続用管端防食管継手	
6 排水設備	①　配　管　材　料	◎汚水管　・排水用鋳鉄管　◎硬質塩化ビニル管（VP） ・硬質塩化リサイクル管（RF-VP）・繊維強化モルタル被覆硬質塩化ビニル管 ・排水用ライニング鋼管 ◎雑排水管　・排水用鋳鉄管　◎硬質塩化ビニル管（VP）　◎耐熱性塩化ビニル管（HT） ・硬質塩化リサイクル管（RF-VP）　・繊維強化モルタル被覆硬質塩化ビニル管 ・排水用ライニング鋼管　◎一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼管（SUS304）（蒸気温水及び排水） ・屋外排水管◎硬質塩化ビニル管（◎VP　◎VU）※呼び径125以上は原則としてVUとする。 ◎小口径桝立ち管◎硬質塩ビリサイクル管（※RS-VU　◎VU） ◎通　気　管・配管用炭素鋼鋼管（白）　◎硬質塩化ビニル管（VP）　・カラーVP ・硬質塩ビリサイクル管（RF-VP）・繊維強化モルタル被覆硬質塩化ビニル管
	②　管　接　合	◎鋼　管（◎ねじ込み式　・MD継手　・　　） ・排水用ライニング鋼管（・MD継手　・　　）
	３．可燃材の区画処理	図５による。
	④　弁　　類	特記以外JIS 5K とする。
	５．床上排除口直下の曲管	排水鋳鉄管系統の床上排除口直下に取付ける管は45° 2回曲りとする。
	６．コンクリート桝ふた	図面詳細による。
	７．小口径桝ふた	図面詳細による他、下記による。 ミカゲ（未舗装部）　鋳鉄（歩道部）　保護鋳鉄T－8（車道部）
	８．伸縮継手	ビニル製伸縮継手
	９．グリーストラップ	日本阻集器工業会の認定を受けたものとする。
	10．差込ソケット（VV）	排水流し下のビニル製排水管には差込（VV）ソケットを使用すること。
	11．満水試験継手	図示による。
7 給湯設備	①　管　　類	イ）◎ステンレス鋼管（◎圧縮接合　◎溶接接合）　・保温付ステンレス鋼管 ・耐熱塩ビライニング鋼管　・鋼管　・保温付被覆鋼管　・被覆断熱鋼管 ・架橋ポリエチレン管またはポリブデン管（さや管工法） ロ）銅管使用の場合はM管とし、電食防止継手を取付ける。 ※用いる（図４による。）
	②　器具接続用管端防食管継手	
	③　弁　　類	JIS 5K とする。ただし、特記部分はJIS 10K とする。
	４．貯湯式ガス湯沸器	オーバーフローはクロームメッキ銅管にて最寄りの流しに間接排水する。
	５．排気筒及び煙突	ガス湯沸器用排気筒は、JIS S 3025による$SUS304$（厚さ0.3mm以上）とする。
	６．保　　温	イ）膨張水槽の保温（・要　・不要） ロ）コンクリート埋設部（◎防食テープ巻　・保温施工）
	７．湯　沸　器	・瞬間式　・貯湯式　・風呂給湯器（オートタイプ）
	８．燃　　料	・ガス　・灯油　・電気
8 消火設備	①　消火ポンプの基礎	◎標準基礎　・防振基礎
	②　フート弁・呼水槽及びサクションカバー	◎要　・不要
	③　屋内消火栓弁	※減圧弁付（・要　◎不要）
	④　保　　温	◎屋内消火管（・要　※不要）　・屋外露出消火管（※要　・不要）
	⑤　管　　類	◎配管用炭素鋼鋼管（白）（屋内）　・外面被覆鋼管（・SGP－VS ・SGP－PS）
	⑥　消防設備士	※要
9 ガス設備	１．種　　類	・都市ガス　発熱量　　KJ/m^3　・液化石油ガス
	２．管　　類	・ガス供給事業者のガス供給規定による。 一般配管　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・ガス用ステンレス製フレキシブル管 ・硬質塩ビ外面ライニング鋼管　・ポリエチレン被覆鋼管 ピット内配管　・硬質塩ビ外面ライニング鋼管　・ポリエチレン被覆鋼管 屋外埋設配管　・ポリエチレン管JIS K 6774
	３．都市ガス	イ）ガスメーター　親メーターは ガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。
	４．液化石油ガス	イ）ガスメーター（・買取り　・借用）　ロ）集合装置（・別途工事　※本工事）
		ハ）転倒防止用の鎖（・別途工事　※本工事）
		ニ）ボンベ置場のコンクリート基礎（※別途工事　・本工事）
	５．ガス漏洩器の付属品	連動スイッチ（・要　・不要）
	６．ガス漏れ警報器	・本工事　・別途工事 ※ガス漏れ警報器工事は、住宅工事においては原則として行わない。
	７．施工資格	液化石油ガス設備士による施工とする。
	８．ガ　ス　栓	（財）日本エルピーガス機器検査協会、検査合格品とする。
	９．絶縁継手	※要　・不要
	10．建物導入部配管	・標準図（・（a）　・（b）　※（c）スリークッション）による。
10 換気設備	１．ダクトの種別	※低圧ダクト　・高圧ダクト
	２．ダクトの工法・種類	イ）給気用ダクト　・アングル工法　・コーナーボルト工法（・共板　・スライドオン） ・スパイラルダクト　・耐火二層管工法　・VP管工法
		ロ）排気用ダクト　・アングル工法　・コーナーボルト工法（・共板　・スライドオン） ・スパイラルダクト　・耐火二層管工法　・VP管工法
	３．ダクトの分岐方法	イ）給気用ダクト　※割込み方式　・直付け方式（ｽﾞﾚﾋﾞﾀﾞｸﾄ）
		ロ）排気用ダクト　※割込み方式　・直付け方式（ｽﾞﾚﾋﾞﾀﾞｸﾄ）
	４．換気フード	※指定色仕上げ　・指定なし
	５．厨房排気フード	イ）排気フードの補強及び支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製風道の当該事項による。
		ロ）材質　※ステンレス製　・亜鉛鉄板製
		ハ）グリースフィルターは、設置台数と同数の予備品を納入する。
	５．多湿箇所の範囲	※厨房　※浴室（シール有）
	７．他の設備項目の適用	下記のものは、空気調和設備の当該項目を適用する。 イ）風量測定口　ロ）チャンバー等　ハ）吹出口及び吸込口の材質 ニ）防煙ダンパー　ホ）消音内貼り　ヘ）防振つり金物
	８．送風機の基礎	・床置（・標準基礎　◎防振基礎）　・天吊（標準図による。）
	９．湯沸機用排気筒の断熱	※要（隠ぺいの箇所のみ）　・不要

11 排煙設備	１．ダクトの材質	・亜鉛鉄板製　・普通鋼板製
	２．排　煙　口	イ）形状　・スリット形　・パネル形　・ダンパー形 ロ）開放装置　・手動　・手動及び遠隔操作可能なもの
12 自動制御設備	１．中央監視制御	・要　・不要
	２．中央監視制御装置の構成・機能	別紙による。
	３．電源装置	・要（・本工事　・別途電気工事）　・不要
13 空気調和設備	１．温湿度調整目標値	

	外気			室内					
				一般系統		厨房清潔系統			
	温度(DB)	湿球温度(WB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿球温度(WB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏季	34.5℃	27.5℃	58.8%	26℃	18.7℃	50%	24 ℃	%	℃	%
冬季	2.1℃	-1.1℃	50.7%	22℃	13.9℃	40%	22 ℃	%	℃	%

	２．電気工事の範囲	※施工区分表による。　・図面詳細による。
	３．パッケージエアコン	イ）冷媒　※HFC系（R407C、R410A、R134a等） ロ）冷媒管（※断熱材被覆鋼管（製造者標準品）　・銅管） ハ）冷媒管及びドレン管の区画処理（・有（※国土交通大臣認定工法　・その他）・無） ニ）ドレン管の材質　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・カラーVP　・硬質塩化ビニル管（VP） ・鋳鉄防止層付塩化ビニル管　・硬質塩ビリサイクル管（RF-VP） ホ）室外機の基礎（◎標準架台　・防振架台） ヘ）※グリーン購入法適合品とする。
	４．配管材料（ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝを除く）	イ）給水管　・塩ビライニング鋼管（・SGP-VB　・　　） ロ）冷温水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・耐熱塩ビライニング鋼管 ・一般配管用ステンレス鋼鋼管　・塩ビライニング鋼管（・SGP-VB（冷水管）） ハ）排水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・硬質塩化ビニル管（VP）　・カラーVP ・鋳鉄防止層付塩化ビニル管　・硬質塩ビリサイクル管（RF-VP） ニ）冷却水管　※塩ビライニング鋼管（※SGP-VB　・　　） ホ）蒸気及び油配管は配管用炭素鋼鋼管（黒）とする。 ヘ）冷媒管（・銅管　・断熱材被覆銅管（製造者標準品）） ト）冷媒管の区画処理（・有（※国土交通大臣認定工法　・その他）　・無） チ）膨張管、安全管及び膨張水槽よりボイラへの給水管の配管材料は、水道用亜鉛メッキ鋼管とする。
	５．冷　　媒	※HFC系（R407C、R410A、R134a等）　・自然冷媒（CO2、NH3）
	６．弁　　類	JIS 5K とする。ただし特記部分はJIS 10K とする。
	７．防振継手	・ベローズ形　・合成ゴム製（・合成ゴム製　・３山ベローズ形） ※長さは標準仕様書による。
	８．ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	・ベローズ形ステンレス製　・合成ゴム製
	９．ダ　ク　ト	イ）種別（※低圧ダクト　・高圧ダクト） ロ）工法・種類（・アングル工法　・コーナーボルト工法（・共板　・スライドオン） ・スパイラルダクト　・ステンレスダクト） ハ）分岐方法（※割込み方式　・直付け方式）
	10．風量測定口	標準仕様書によるほか、取付を図示された部分に取付ける。
	11．チャンバー等	イ）シーリングディフューザーには、下記の接続チャンバーを設ける。 a）ネック径が200φ以下　400×400×250H b）ネック径が200φをこえるもの　500×500×300H ロ）プリーズライン形吹出口には、下記の接続チャンバーを設ける。 a）シングル形　200×（L＋100）×300H b）ダブル形　250×（L＋100）×300H ハ）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー、ホッパーには排水弁を設ける。
	12．吹出口・吸込口の材質（シャッター共）	イ）ユニバーサル形吹出口　・鋼板製　※アルミ製 ロ）シーリングディフューザー　・鋼板製　※アルミ製
	13．防煙ダンパー	ハ）吸込口　・鋼板製　※アルミ製（外気吸込口には防虫網付とする。） 下記のものは本仕様による。 イ）操作方式　・電気式　・空気式 ロ）復帰方式　※遠隔式（※電気式　・空気式）　・手動式 ハ）温度ヒューズ（・取り付ける　・取り付けない） ニ）表示用端子（・設ける　・設けない）
	14．煙　　道	鋼板厚（・4.5mm　※3.2mm）
	15．保　　温	下記のものは本仕様による。 イ）建物内の空気抜き管の保温は、空気抜き弁までとし、仕様は温水管の項による。 ロ）空気調和機・ファンコイルユニット等の排水管の保温は、給排水衛生設備の排水管の項による。 ハ）還り風道の保温（・要　・不要）　ニ）膨張水槽の保温（・要　・不要） ホ）内貼りチャンバー等の保温（・要　・不要） ヘ）隠ぺい風道の保温でフランジ部は保温材２枚重ねとする。
	16．消音内貼り	イ）内貼りの材料及び施工法は、標準仕様書の当該事項による。 ロ）施工箇所は、図示した風道並びにチャンバー類とする。 ハ）内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。
	17．機器類の架台	イ）パッケージ形空気調和機（・防振パット　※木台　※転倒防止処理） ロ）ユニット形空気調和機（・標準架台　・防振架台） ハ）送風機（・標準架台　・防振架台）　ニ）ポンプ（・標準架台　・防振架台） ホ）冷凍機（・標準架台　・防振架台） ヘ）チラーユニット（・標準架台　・防振架台）
	18．機械室（配管・風道）のつり金物	・防振つり金物（・シングル　・ダブル）（・中央機械室　・各階機械室）
	19．温　度　計	※標準仕様書による。
	20．圧力計及び連成計	※標準仕様書による。
	21．瞬間流量計	※要（※標準仕様書による。　・図示による。）　・不要
	22．ファンコイルユニット用調節弁	・流量調節弁　・定流量弁（流量設定が可能なもの）
	23．油サービスタンク	イ）防油堤（コンクリート製）　※別途工事　・本工事 ロ）フロートスイッチの機能は、下記による。 ・給油ポンプの起動、停止　・満油警報　・減油警報 ハ）油面計（・フロート式　・ゲージ式）
	24．地下貯油槽	イ）タンク室　・設けない　・設ける（・別途工事　・本工事） ロ）計量器（・計量尺　・直読式（防水蓋スプリング付、プロテクター共）　・遠隔式） ハ）土工事　・オープンカット　・矢板（・有　・無）　・特殊基礎（・有　・無）
	25．予　備　品	※ファンコイルユニット付属品　イ）運転表示ランプ　台数の1/2以上 ロ）フィルター　各型番台数の1/2以上 ※自動巻取形空気清浄用フィルター（各台1巻） ※ユニット形空気清浄器　　個
	26．アワーメーター	※要（指定機器）　・不要
	27．度数計	※要（指定機器）　・不要
	28．煤煙濃度計	・設ける
	29．ばいじん量測定孔	・設ける（煙道の直線部に直径80φ以上のフランジ付とする。）　・設けない

H２１―８

| | | | | | | |

⑭ 受水槽設備

※加圧給水ポンプ（住宅物件）の仕様については、加圧給水ポンプユニット仕様書（国土交通省及びBL仕様）による。

15 浄化槽設備

※浄化槽仕様書による。

⑯ 営繕保温仕様（管類については○印を塗りつぶしたものを適用する）

給排水衛生設備（管類）

施工箇所	保温種別	給水管	排水管	消火管	給湯管	ガス管
屋内露出	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. 原紙 4. 綿布 5. 目止め 6. 調合ペイント	○	○		○	
機械室・倉庫	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. 原紙 4. アルミガラスクロス	○	○		○	
天井内・PS内・空隙壁中	1. アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温筒 2. アルミガラスクロス粘着テープ	○	○		○	
床下・暗渠内	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	○				
床下・暗渠内・ｺﾝｸﾘｰﾄ内	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス				○	
屋外露出・多湿箇所	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. ・ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板				○	
屋外露出・多湿箇所	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ・ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	○	○	○		
黒管塗装	1. 錆止めペイント（2回） 2. 調合ペイント（2回）					
白管塗装	1. エッチングプライマー（1回） 2. 錆止めペイント 3. 調合ペイント（2回）					○

空調設備工事（冷温水管・冷媒管）

施工箇所	保温種別	温水管	冷水管	冷温水管	蒸気管	冷媒管	ドレン管
屋内露出	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. 原紙 5. 綿布	○	○	○	○	○	○
屋内露出	1. 被覆銅管の断熱材 2. 化粧カバー					○	
機械室・倉庫	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. 原紙 5. アルミガラスクロス	○	○	○	○	○	○
天井内・PS内・空隙壁中	1. アルミガラスクロス化粧付グラスウール保温筒 2. アルミガラスクロス粘着テープ	○	○	○	○	○	○
床下・暗渠内・ｺﾝｸﾘｰﾄ内	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	○	○	○	○		
屋外露出・多湿箇所	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. ・ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	○	○	○	○	○	
屋外露出・多湿箇所	1. 被覆銅管の断熱材 2. 化粧カバー					○	

一般風道

区分	屋内露出 機械室・書庫・倉庫	屋内露出 居室・廊下	屋内隠ぺい	屋外露出多湿箇所
矩形風道	1. 鉄 2. アルミガラスクロス化粧グラスウール保温板 3. アルミガラスクロス粘着テープ	1. 鉄 2. グラスウール保温板 3. 着色亜鉛鉄板	1. 鉄 2. アルミガラスクロス化粧グラスウール保温板 3. アルミガラスクロス粘着テープ	1. 鉄 2. グラスウール保温板 3. ポリエチレンフィルム 4. 鉄線 5. ステンレス鋼板
円形風道（スパイラルダクト）	1. アルミガラスクロス化粧グラスウール保温筒 2. アルミガラスクロス粘着テープ	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. 着色亜鉛鉄板	1. アルミガラスクロス化粧グラスウール保温筒 2. アルミガラスクロス粘着テープ	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. 鉄線 5. ステンレス鋼板

排煙風道

区分	保温種別
矩形	屋内隠ぺい 1. 鉄 2. アルミガラスクロス化粧ロックウール保温帯 3. アルミガラスクロス粘着テープ 4. きっ甲金網（鉄）
円形	屋内隠ぺい 1. アルミガラスクロス化粧ロックウール保温帯 2. アルミガラスクロス粘着テープ 3. きっ甲金網（鉄）
煙道	1. ロックウールブランケット 2. 鉄線 3. 着色亜鉛鉄板

※ ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温筒及びﾛｯｸｳｰﾙ保温筒又は、保温板の使用が困難な箇所は、ﾛｯｸｳｰﾙﾌｪﾙﾄを使用してもよい。
※ ストレーナー・弁の保温は、屋内屋外ともビスなどにより容易に着脱できる構造とすること。
※ ＯＡダクトが室内空調空間を経由する場合は保温すること。
※ 防火区画を貫通する管の保温は、その貫通する部分をロックウール保温材とする。
※ 蒸気管、温水管、給湯管の保温は、ポリエチレンフィルムを除く。
※ 全熱交換器の一次側ＯＡ、ＥＡダクトは保温工事を施すこと。
※ 支持金物に鋼製の金物を使用した場合はゴム製又は樹脂製の絶縁テープ等を介して取り付ける。但し、樹脂管は除く。

17 住宅保温仕様（管類については○印を塗りつぶしたものを適用する）

給排水衛生設備（管類）

施工箇所	保温種別	給水	排水	給湯	ガス
屋内露出（住宅内）黒管	1. 錆止めペイント（2回） 2. 調合ペイント（2回）		○		
屋内露出（住宅内）白管	1. エッチングプライマー（1回） 2. 錆止めペイント（2回） 3. 調合ペイント（2回）	○	○		○
屋内露出（住宅外）	1. エッチングプライマー（1回） 2. 鉄線 3. 原紙 4. 綿布 5. 目止め 6. 調合ペイント（2回）	○	○		
機械室内	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. 原紙 4. アルミガラスクロス	○			
メーターボックス内黒管	1. 錆止めペイント（2回） 2. 調合ペイント（2回）		○		
メーターボックス内白管	1. エッチングプライマー（1回） 2. 錆止めペイント 3. 調合ペイント（2回）				○
メーターボックス内	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. アルミガラスクロス	○		○	
床下・暗渠内	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. 着色アルミガラスクロス	○			
床下・暗渠内	1. アスファルトプライマー塗装（調管部）		○		
天井内・ＰＳ内	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. アルミガラスクロス	○	○		
スラブ上床板開転がし	1. 保温チューブ	○			
スラブ上床板開転がし	1. ねじ部錆止め		○		○
洗面台内	1. エッチングプライマー（1回） 2. 錆止めペイント 3. 調合ペイント（2回）	○			
屋外露出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリエチレンフィルム 4. ・ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板	○			
屋外露出	1. グラスウール保温筒 2. 鉄線 3. ポリエチレンフィルム 4. ・ステンレス鋼板・ガルバリウム鋼板			○	
屋外露出黒管	1. 錆止めペイント（2回） 2. 調合ペイント（2回）		○		
屋外露出白管	1. エッチングプライマー（1回） 2. 錆止めペイント 3. 調合ペイント（2回）		○		○
コンクリート内	1. 0.4m/m防食ビニールテープ1/2重ね1回巻き	○	○		○
木造壁内	1. 保温チューブ	○			
流し裏	1. 保温チューブ	○			
土中埋設	1. ペーストビトラタム系 2. ビトラタム系防食テープ 1/2重ね1回巻き	○			

※ 硬質塩化ビニル管及び鋳鉄管のコンクリート、地中埋設部は防食施工しない。
※ サニタリーベンド及び通気管の屋内露出部分は塗装する。
※ 屋内露出（便所）の通気管は塗装する。
※ コンクリート貫通部分には、防食処理を行う。
※ 間仕切壁（PL板除く）貫通の場合は両側にプラスチックプレート取付のこと。
※ 支持金物仕様PS内（鋼製）、屋外（SUS製）、その他（樹脂製）とする。
※ 支持金物に鋼製の金物を使用した場合はゴム製又は樹脂製の絶縁テープ等を介して取り付ける。但し、排水管は除く。
※ さや管ヘッダー工法におけるヘッダー管は保温を行うこと。

⑱ 建設副産物の処理について

資源の有効利用、環境負荷の低減等を図り、「資源循環型社会」を構築するため、建設副産物の発生抑制、再利用、適正処理を推進する。

現場内で発生する建設副産物の処理については、現場内において発生する品目ごとに分別保管場所を設置し集積すること。

また、「再生資源の利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び建設廃棄物処理指針その他関係諸法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い、指定された方法により適正に処理を行うこと。

工事に際しては、工事着手時に「建設副産物処理計画書」、工事竣工時に「建設副産物処理結果報告書」（共に添付書類を含む）を提出すること。

指定副産物 （原則として再資源化施設へ持込むもの）	その他の副産物
・がれき類 （コンクリート塊） （アスファルト塊） ・木くず ・汚泥	・廃プラスチック ・ガラス、陶磁器くず ・廃石こうボード ・金属くず ・繊維くず

特別管理産業廃棄物

・廃石綿等

「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル（環境庁大気保全局）」に従い、収集、運搬、処分を行う。

・廃PCB等

「電気事業法：電気関係報告規則」及び「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に従い、報告書の作成・提出を行うとともに、適切に保管できるようにして施設管理者に引き渡すこと。

※参考受入場所は現場説明書による

建設副産物の処理内容（○印塗りつぶしたものを適用する。）

処理内容		備考
現場内における分別	●	
現場内分別保管場所の設置	●	
現場内分別保管場所までの運搬	●	
分別保管場所からの積込み・運搬・処分	●	
「建設副産物の処置計画届」の作成	●	
「建設副産物の処理結果報告書」の作成	●	
「再生資源利用計画書」の作成	○	
「再生資源利用実施書」の作成	○	

19 フロン処理について

「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に従い処理すること。

発注者（施設管理者）
- 委託確認書 →
- ← フロン回収証明書 引取証明書、業者登録書のコピー

工事請負業者
- フロン類引渡 回収・運搬・破壊費用支払 委託確認書 →
- ← 引取証明書 引取証明書、業者登録書のコピー

第１種フロン類回収業者 ・・・フロン類回収・運搬

フロン類破壊業者 ・・・フロン類破壊処理

※ 工事請負業者は、第１種フロン類回収業者にフロン回収処理を依頼し、回収後、引取証明書及び第１種フロン類回収業者登録書のコピーの発行を受け、竣工図書に添付のこと。

※ 家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）に該当する機器（ルームエアコン等）については、適切に処理し、管理票（家電リサイクル券）を竣工図書に添付すること。

20 中水道配管設備

1．水源 ・雨水 ・雑用水処理水 ・井水

2．配管材料

一般配管 ・塩ビライニング鋼管（SGP－VA） ・ポリ粉体鋼管（SGP－PA）
・塩ビライニング鋼管（SGP－VB） ・ポリ粉体鋼管（SGP－PB）
・硬質塩化ビニル管（HIVP）(屋内) ・鋳鉄管（ 型 種）
・ステンレス鋼管（SUS）（・圧縮接合 ・溶接接合 ・拡管接合）

屋内地中配管 ・塩ビライニング鋼管（SGP－VD） ・ポリ粉体鋼管（SGP－PD）
※ブチルゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。

屋外地中配管 ・塩ビライニング鋼管（SGP－VD） ・ポリ粉体鋼管（SGP－PD）
・硬質塩化ビニル管（HIVP） ・硬質塩化ビニル管（VP）
※ブチルゴム系コーキングテープ又はゴムリングで完全に密封すること。
・ポリエチレン管 1種（PE） （・溶着接合 ・金属継手接合）

3．誤接続の防止対策

配管等	
屋内隠ぺい配管	1．保温前の裸管に若草色の着色塗装を行う。 2．保温後の上には若草色の表示テープを1個所3回巻きにし、1m間隔に巻く。
屋内・屋外露出配管	1．保温前の裸管に若草色の着色塗装を行う。 2．保温後の要所には「処理水」と表示する。
地中埋設部 コンクリート内埋設部の配管	1．埋設前の裸管に若草色の表示テープを1個所3回巻きにし、1m間隔に巻く。 2．「処理水」の文字入り埋設標識テープ（黄色）を布設する。（地中埋設部）
メーター	1．メーター本体に若草色の着色塗装を行うこと。 2．メーターボックス蓋は「処理水」入りを使用すること。
バルブ等	1．バルブハンドルには若草色の着色塗装を行うこと。 2．バルブ等で誤操作する恐れのある個所には、標示板等を取り付け処理水の等であることが識別できるようにする。 3．地中埋設バルブの鉄蓋は「処理水」入りを使用すること。

注）若草色とは黄緑色をいう。
処理水用の若草色表示テープ、黄色の埋設標識テープは福岡市管工事組合に常備。
井戸水を雑用水として使用する場合は、上表において「若草色を紫色に」、
「処理水を雑用水」と読みかえる。

図１－１ 配管埋設参考

	埋設深さH
1	300以上
2	600以上
3	以上

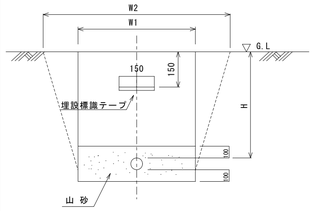


図１－２ 水槽類埋設参考

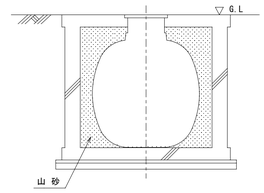
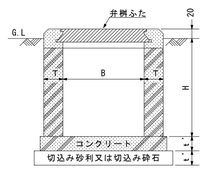
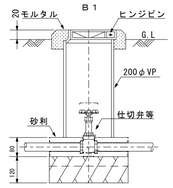


図２ 弁桝

VC－1～VC－5



VC－P



記号	弁の呼び径	B	B	T	t'	t"	ふた
VC－P	25 以下	200φ	——	——	——	——	B1
VC－1	40 以下	180x180	550	75	75	75	B1
VC－2			850	100	100	100	
VC－3	50～ 80	300x300	700	100	100	120	MHA-P300
VC－4			900				
VC－5	100～200	450x450	1,200	120	120	120	MHA-P450

注（イ）本表のB及びH寸法は、5K仕切弁を対象とする。
（ロ）コンクリート部には、必要に応じ鉄筋を入れる。
なおコンクリート部は工場製品でもよい。
（ハ）桝底部には、必要ある場合は、水抜管を設ける。

図３－１ ドロップ桝参考図

（※副管サイズは主管サイズより１サイズ下でも可。）

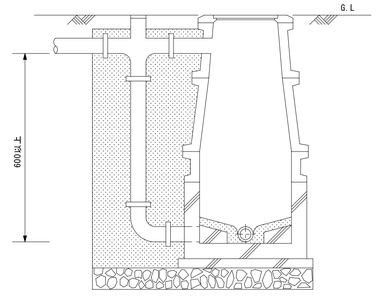


図３－２ 小口径桝取付要領図

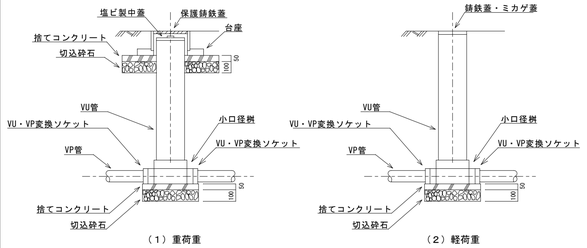
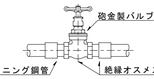


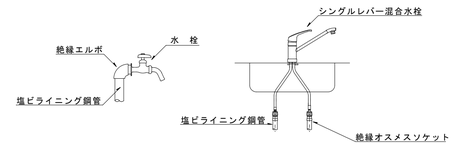
図４ 異種金属接続部

異種金属接続部は、屋外埋設配管を除き電食防止のため、異種金属接続用絶縁継手を使用すること。
使用箇所例を下記に示す。

１．砲金製バルブと塩ビライニング鋼管接続部（屋内の砲金製バルブはコアなしとする。）

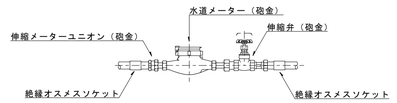


２．衛生器具（水栓類、便器、洗面器等）接続管と塩ビライニング鋼管接続部



３．マイクロエアベンド及びエアセパレーターと塩ビライニング鋼管接続部
絶縁エルボ又は絶縁オスメスソケットを使用すること。

４．水道メーター（砲金）、伸縮弁（砲金）、伸縮メーターユニオン（砲金）と塩ビライニング鋼管接続部



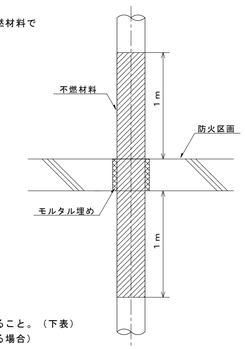
５．水抜きテスト弁と塩ビライニング鋼管接続部

６．上記以外の異種金属接続部

図５ 防火区画等貫通部措置

給水管、排水管及び通気管等が防火区画等を貫通する場合の措置は、建築基準法施行令第１２９条の２の５第１項第７号に規定されており、次のいずれかに該当すること。

１．防火区画等の貫通部分及び両側１ｍ以内を不燃材料で造ること。（参考図）



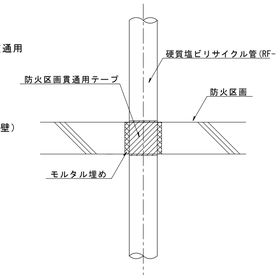
２．平成１２年建設省告示第１４２２号に適合すること。（下表）
（難燃材料又は硬質塩化ビニル管（VP）を用いる場合）

用途	覆いの有無	肉厚	給水管等の外径			
			防火構造	３０分耐火構造	１時間耐火構造	２時間耐火構造
給水管		5．5mm以上	90mm	90mm	90mm	90mm
		6．6mm以上	115mm	115mm	115mm	90mm
排水管及び排水管に付属する通気管	無し	4．1mm以上	61mm	61mm	61mm	61mm
		5．5mm以上	90mm	90mm	90mm	61mm
		6．6mm以上	115mm	115mm	90mm	61mm
	厚さ0.5mm以上の鉄板の覆い有り	5．5mm以上	90mm	90mm	90mm	90mm
		6．6mm以上	115mm	115mm	115mm	90mm
		7．0mm以上	141mm	141mm	115mm	90mm

３．国土交通大臣の認定を受けたものであること。

例１）硬質塩ビリサイクル管(RF-VP)に防火区画貫通用テープを用いる場合（参考図）

認定番号：ＰＳ０６０ＦＬ－００７０
認定番号：ＰＳ０６０ＷＬ－００６３
認定番号：ＰＳ０６０ＷＬ－０１０２（中空壁）



H21－8

工事名称	行橋市給食センター建設事業の内 給排水衛生設備工事	特記仕様書（２）	
工事場所		図番	P 02号
設計者	設計者 １級建築士登録第１５９２５０号 建築設備士第 号 氏名 原 澄雄 印		
	事務所名及び所在地 アトリエＢＢＳ株式会社 福岡市博多区博多駅南３－４－３８		

平成 年 月 日

工 事 区 分 表

工事項目	建築	電気	衛生	空調	厨房	除害	土木	備考
S造・SRC造・RC造及び ALCパネルのスリーブ・箱入れ	○	○	○	○				
同　上　貫通箇所の補強	○							
防火区画・防火壁を貫通する ダクト・配管等の防火処置	○	○	○	○				
点検口　（壁）（天井）	○							
同　上　位置出し	○	○	○	○				
照明器具・スピーカー等の天井埋込機器の 切込み及び補強・補修	○							
同　上　位置出し		○						
吹出口・吸込口空調機器等の天井埋込機器の 切込み及び補強・補修	○							
同　上　位置出し				○				
換気扇の取付け工事				○				
同　上　取付け枠（木枠）	○							
同　上　取付け枠（木枠以外）				○				
同　上　電気配管・配線及び接続		○						
同　上　リモートスイッチ取付け		○						部品は 各工事支給
同　上　天井切込み及び補強・補修	○							
同　上　位置出し				○				
設備機器（ダクト・配管棟）下の天井下地の 吊りボルト支持及び補強	○							
鋼製簡易間仕切（既製品）の開口及び開口補強	○							
同　上　配管・ボックス取付け及び補強	○							
同　上　機器取付け・配線及び補強		○	○	○				
鋼製簡易間仕切壁の貫通及び補強	○							
同　上　位置出し、位置の指示		○	○	○				
同　上　ボックス・機器取付け、 配管・配線及び接続		○	○	○				
屋根防水箇所の配管等（ＰＳ立ち上り）	○							
同　上　配管施工後の穴埋	○	○	○	○				
同　上　仕上げ	○							
屋外型受水槽・キュービクル等の囲壁	○							
キュービクル保守架台	○							
機械室の防音・遮音	○							
機械室・電気室等の床の溝・桝・蓋	○							
厨房・浴室等の床の排水溝・桝・蓋	○							
同上　等の床の排水トラップ、グリストラップ			○					
電気室等床の配線ピット及び蓋	○							
機械室・電気室等床の防塵塗装	○							
防火水槽（ＲＣ造）（仕上げを含む）							○	
消火水槽（ＲＣ造）（仕上げを含む）	○							
同　上　オーバーフロー	○							

工事項目	建築	電気	衛生	空調	厨房	除害	土木	備考
外壁の換気ガラリ・排気ガラリ・壁面のリターンガラリ （ダクト接続用アングルピース共）	○							
同　上　取付け（コーキングを含む）	○							
同　上　ダクト接続工事				○				
雨水排水竪管（外部配管） （第一会所までの横引き管を含む）	○							
同　上　　（内部配管） （第一会所までの横引き管を含む）	○							
屋外排水管（雨水）　（雨水桝を含む）	○							
同　上　　（汚水）　（汚水桝を含む）			○					
同　上　　（雑排水）（雑排水桝を含む）			○					
玄関出入口の床排水マット下の排水桝 （仕上げを含む）	○							
同　上　排水金具　排水管及び接続	○							
床下ピット及び昇降機ピット（仕上げを含む）	○							
同　上　通気管・排水管・排水桝 （仕上げを含む）	○							
据え付け流し（既製品）（据え付けを含む）	○							
同　上　排水金物	○							
同　上　接続工事			○					
同　上　給水給湯工事（接続共）			○					（取付用穴あけ ：建築）
ミニキッチン	○							
同　上　接続工事			○					
ユニットシャワー・ユニットバス等 （据え付けを含む）	○							
同　上　換気設備工事				○				
同　上　電気設備工事		○						
同　上　一次側電気配管・配線		○						
同　上　一次側との接続工事			○					
換気フード				○				
同　上　接続工事				○				
同　上　フード廻りに取付ける幕板				○				
消火器及び消火器ボックス	○							
化粧鏡（既製品）			○					
姿見鏡	○							
洗面化粧台・同化粧鏡			○					
洗面カウンター（穴あけ共）	○							
同　上　衛生機器（カラン共）			○					
同　上　接続工事			○					
同　上　排水金物			○					

工事項目	建築	電気	衛生	空調	厨房	除害	土木	備考
自動扉	○							
同　上　一次側電気配管・配線及び接続		○						
同　上　二次側電気配管・配線及び接続	○							
電動シャッター・電動スクリーン 及び電動ブラインド	○							
同　上　一次側電気配管・配線及び接続		○						
同　上　リモートスイッチの機器取付け ・電気配管・配線及び接続	○							
煙感知器連動の防火戸・防火防煙シャッター 及び防煙垂れ壁	○							
同　上　レリーズ		○						
同　上　動作用煙感知器及び電気配管 ・配線・接続		○						
同　上　動作表示及び電気配管・配線・接続		○						
同　上　制御盤		○						
同　上　制御盤の一次側電気配管・配線及び接続 （予備電源共）		○						
屋内消火栓箱総合盤（本体組込み型）			○					
同　上　盤組込みの発信網・表示灯及 及び起動押し鈕		○						
ユニット形消火栓ポンプ・スプリンクラーポンプ ・自動給水装置等の付属型制御盤			○					
同　上　一次側電気配管・配線及び接続		○						
同　上　二次側電気配管・配線及び接続			○					
消火水槽の液面電極工事		○						
消火用充水槽の液面電極工事		○						
液面電極以外の水位制御器（フロースイッチ等）			○					
空調設備の制御盤		○						
同　上　一次側電気配管・配線及び接続		○						
同　上　機器連動インターロック （火災発生時の空調停止を含む）		○		○				
同　上　遠方操作用機器				○				
同　上　遠方操作用機器の取付け				○				
同　上　遠方操作用電気配管・配線及び接続				○				
自動制御機器の計装盤				○				
同　上　一次側電気配管・配線及び接続 （電源供給）		○						
自動制御用電気配管・配線及び接続				○				

工事項目	建築	電気	衛生	空調	厨房	除害	土木	備考
空調機器の一次側電気配管・配線及び接続		○						
ファンコイルユニットのリモートスイッチの機器取付け ・電気配管・配線及び接続（但し機器は別途）				○				
セパレート型空調機の二次側電気配管 ・配線及び接続				○				
空調機器のドレン排水 （最寄り会所への接続を含む）				○				
エレベーター	○							
同　上　三方枠	○							
同　上　動力・電灯用一次側電気配管 ・配線及び接続		○						
同　上　保守点検用コンセント		○						
同　上　昇降路の仕上げ	○							
同　上　出入り口廻りの開口	○							
同　上　昇降路内の足場	○							
同　上　昇降路点検扉	○							
電動ダムウェータ	○							
同　上　三方枠	○							
同　上　動力・電灯用一次側電気配管 ・配線及び接続		○						
同　上　保守点検用コンセント		○						
同　上　昇降路の仕上げ	○							
同　上　出入り口廻りの開口	○							
同　上　昇降路内の足場	○							
白板・掲示板	○							
映写スクリーン	○							
身障者用手摺	○							
身障者用点字表示等	○							
身障者用衛生機器ライニング	○							
下水本管への接続（申請手続き共）						○		
上水引込み　　（申請手続き共）						○		
電気・電話の引き込みハンドボール		○						
電気・電話の引き込み柱		○						
舗装・整地等	○							
植栽・客土	○							

工事項目	建築	電気	衛生	空調	厨房	除害	土木	備考
厨房設備関係								
厨房機器製造・搬入・据付・組立					○			
一次側電気工事		○						
厨房機器への電源接続工事		○						関閉器より厨房機器 への電気接続工事含む
予備コンセントの取付工事		○						設置位置は打合せ要 （詳細設計時）
一次側給排水・給湯・蒸気配管工事			○					
給排水・給湯・蒸気配管元バルブ・カラン 及び取付工事			○					
厨房機器への給排水・給湯・蒸気接続工事			○					
蒸気スチームトラップ及びチャッキ弁			○					
室内清掃用カラン及び水栓柱取付工事			○					設置位置は打合せ要 （詳細設計時）
床ピット・床ピット見切・グレーチング蓋 及び取付工事	○							
床ピットストレーナー（残菜カゴ）取付工事	○							
床ピット内、目皿及び排水トラップ取付工事			○					
厨房機器開口部ステンレス三方枠及び取付工事	○							
プレハブ冷凍・冷蔵庫用室外機設置用　基礎工事	○							
プレハブ冷凍・冷蔵庫用　床コンクリート工事 （仕上げ含む）	○							
プレハブ冷凍・冷蔵庫用　冷媒配管、配線、 化粧カバー（貫通部処理を含む）					○			
連続フライヤー用渡り信号線		○						
連続フライヤーと新油・廃油タンクとの油用配管 及び接続工事			○					ステンレス配管
厨芥処理機用スラリー配管			○					
厨芥処理機用渡り信号線		○						
真空冷却機用室外機及びタンク設置用基礎工事	○							
真空冷却機用の冷水配管			○					
真空冷却機用の室外機及びタンク				○				
天吊消毒保管機用の機械吊込み鋼材及び取付工事	○							
現場に於ける厨房機器の試運転					○			
厨房機器の取扱説明書の作成、取扱説明					○			
除害設備設置関係								
処理槽本体工事						○		
処理槽土木工事						○		
機械室工事	○							
処理槽機器工事						○		
処理槽配管工事						○		
処理槽電気工事（二次側）						○		
流入管、放流管路工事			○					
臭突管立上工事			○					
一次側電気引込工事		○						
給水管工事（散水栓蓋）			○					
杭工事	○							
試運転調整						○		

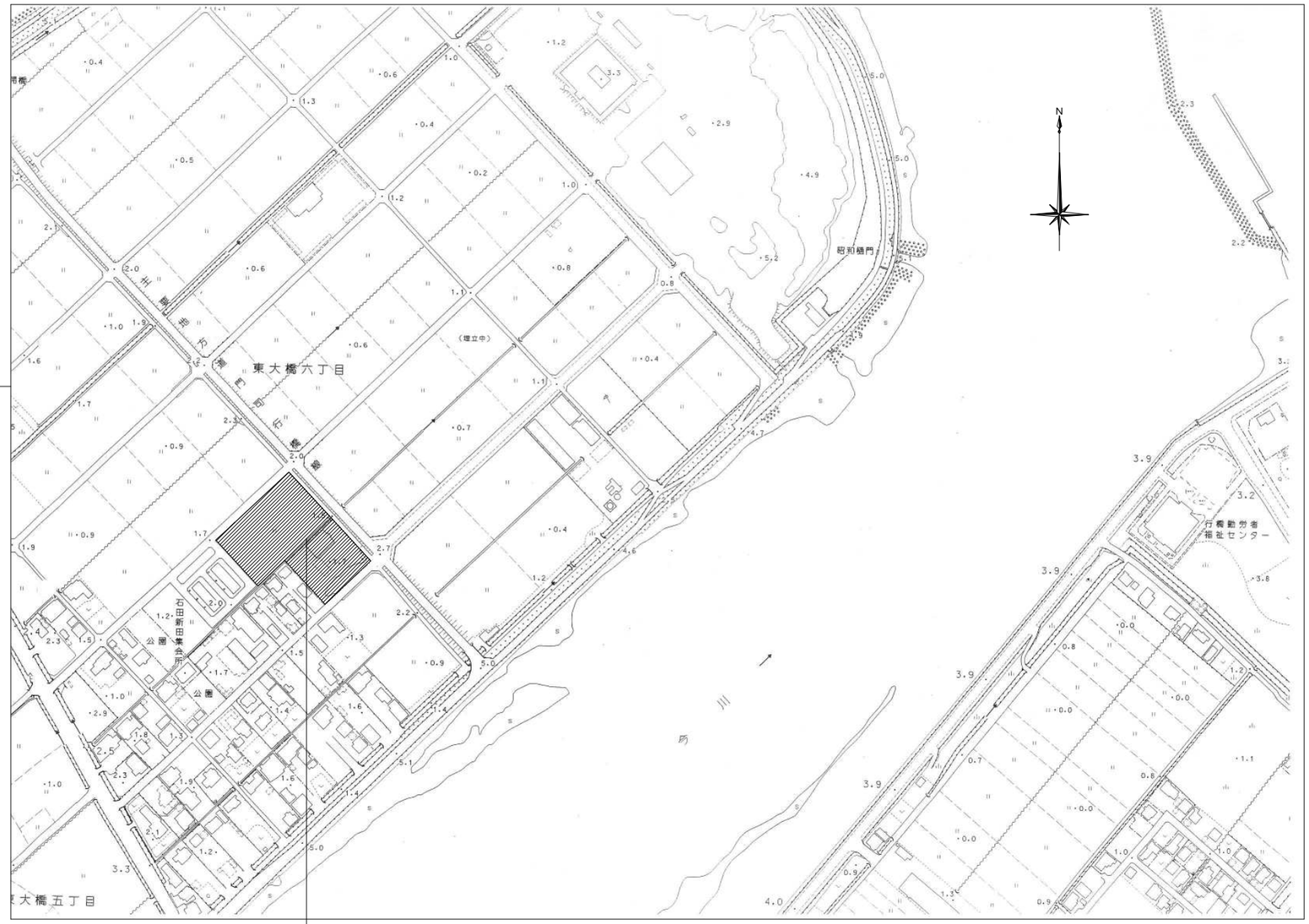
特記事項

アトリエＢＢＳ株式会社
１級建築士　第159250号　原　澄雄

設計	検図	施設名	行橋市学校給食センター			P	No. 03
製図	担当	工事名	行橋市 給食センター 建設事業 の内 給排水衛生設備工事	図面名	工事区分表	縮尺	NO SCALE

2012年 3月

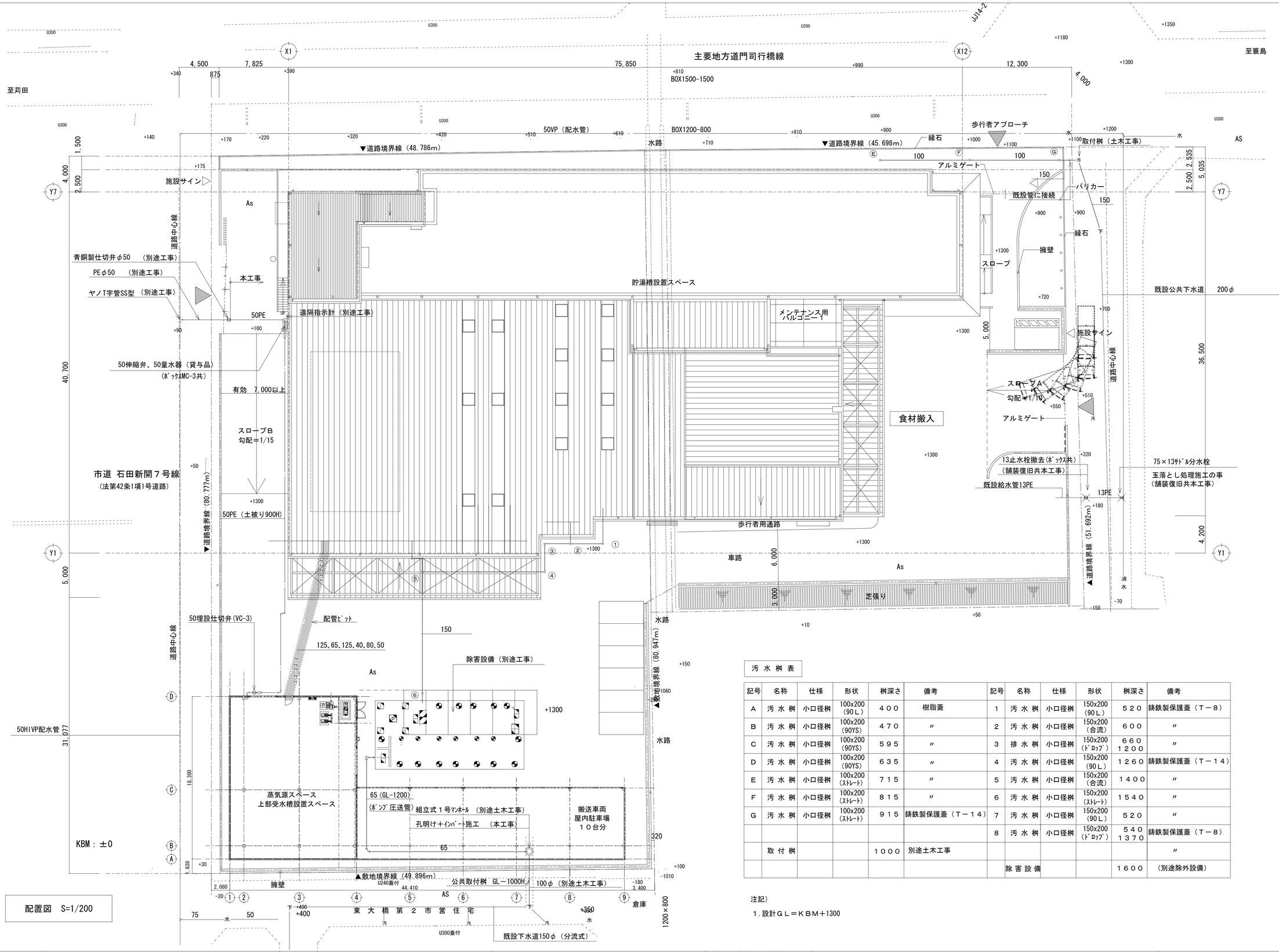
NO SCALE



S＝1／2000

建設地：福岡県行橋市東大橋六丁目 3278-1、3303-1、3304-3及び3444の一部

特記事項		アトリエＢＢＳ株式会社 1級建築士 第150259号 原 澄雄	設計	検図	施設名	行橋市学校給食センター				A共通	No. 05
			製図	担当	工事名	行橋市 給食センター 建設事業 の内 建築主体工事	図面名	付近見取図	縮 尺 A1：1/2000 A3：1/4000		2012年 3月



配置図　S=1/200

汚水桝表

記号	名称	仕様	形状	桝深さ	備考	記号	名称	仕様	形状	桝深さ	備考
A	汚水桝	小口径桝	100x200（90L）	４００	樹脂蓋	1	汚水桝	小口径桝	150x200（90L）	５２０	鋳鉄製保護蓋（Ｔ－８）
B	汚水桝	小口径桝	100x200（90YS）	４７０	〃	2	汚水桝	小口径桝	150x200（合流）	６００	〃
C	汚水桝	小口径桝	100x200（90YS）	５９５	〃	3	排水桝	小口径桝	150x200（ﾄﾞﾛｯﾌﾟ）	６６０ １２００	〃
D	汚水桝	小口径桝	100x200（90YS）	６３５	〃	4	汚水桝	小口径桝	150x200（90L）	１２６０	鋳鉄製保護蓋（Ｔ－１４）
E	汚水桝	小口径桝	100x200（ｽﾄﾚｰﾄ）	７１５	〃	5	汚水桝	小口径桝	150x200（合流）	１４００	〃
F	汚水桝	小口径桝	100x200（ｽﾄﾚｰﾄ）	８１５	〃	6	汚水桝	小口径桝	150x200（ｽﾄﾚｰﾄ）	１５４０	〃
G	汚水桝	小口径桝	100x200（ｽﾄﾚｰﾄ）	９１５	鋳鉄製保護蓋（Ｔ－１４）	7	汚水桝	小口径桝	150x200（90L）	５２０	〃
						8	汚水桝	小口径桝	150x200（ﾄﾞﾛｯﾌﾟ）	５４０ １３７０	鋳鉄製保護蓋（Ｔ－８）
	取付桝			１０００	別途土木工事						〃
							除害設備			１６００	（別途除外設備）

注記）

１．設計ＧＬ＝ＫＢＭ＋1300

特記事項

アトリエＢＢＳ株式会社
１級建築士　第159250号　原　澄雄

設計	検図	施設名	行橋市給食センター				P	No. 04
製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事工事	図面名	配置図	縮尺	A1：1/200　A3：1/400	2012年 3月

凡　例

記　号	名　称	仕　様
——-——	給　水　管	硬質塩ビライニング鋼管（ＶＢ）
——-PE——	給　水　管	水道用ポリエチレン管（１種二層管）屋外埋設
——-VD——	給　水　管	硬質塩ビライニング鋼管（ＶＤ）屋内埋設
——ｌ——	給湯管（行）	一般配管用ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）
——ll——	給湯管（返）	一般配管用ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）
————	屋内排水管	硬質塩ビ管（ＶＰ）　注１）
——HT——	屋内排水管	耐熱性塩ビ管（ＨＴＶＰ）
- - - - - - -	通　気　管	硬質塩ビ管（ＶＰ）　注１）
————	屋外排水管	硬質塩ビ管（ＶＰ）、１２５φ以上は（ＶＵ）とする。
——S——	蒸　気　管	配管用炭素鋼鋼管（黒）
——SR——	蒸気還水管	一般配管用ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）
——×——	消　火　管	配管用炭素鋼鋼管（白）
○	汚　水　桝	小口径桝
☒	雨　水　桝	ＲＣ－１、格子蓋

注１）防火区画を貫通する硬質塩ビ管（ＶＰ）の排水・通気管１００φは、
貫通箇所の上下１ｍは、０．５mm以上の鉄板で、覆いをする事。

器　具　表

器　具　名	品　番	附　属　品・備　考	職員便所１	多目的便所	事務給湯室	職員便所２	更衣室１	更衣室２	荷受室	便所（男）	便所（女）	多目的便所２階	野菜荷捌室	器具洗浄室１	加工品荷捌室	肉魚荷捌室	洗米室・米庫	青果下処理室	検収室	計量室	割卵室	魚肉処理室	切断室	器具洗浄室２	加熱調理室	揚物・焼物室	炊飯室	和え物前室	和え物室	特別調理室	コンテナプール	洗浄室	厨芥処理室	回収風除室	配送員便所	配送風除室	油庫	プラットホーム	給食センター屋外	蒸気源機械室	屋内駐車場	合　計
洋風大便器	ＣＦＳ４６５ＣＮＡ	ＴＥＳ２６ＴＥ、ＴＣＦ４７３１、ＴＨ３４３Ｒ，ＹＨ６４Ａ、他付属品共	５																																							５
洋風大便器	ＣＦＳ４６５ＣＮＡ	ＴＥＳ２６ＴＥ、ＴＣＦ５８４Ｒ、ＴＨ３４３Ｒ，ＹＨ６４Ａ、他付属品共				５				２	４																							１							１２
洋風大便器	ＣＦＳ４６５ＣＮＡ	ＴＥＳ２７ＴＥ、ＴＣＦ４７２１Ｖ８１、ＴＨ３４３Ｒ，ＥＷＣ２８３Ｃ、ＹＨ６４Ａ、他付属品共		１								１																												２
洗面器	Ｌ２７０ＤＭ	ＴＥＮ５０ＡＸ，Ｔ６ＢＭＳ，他付属品共	５																																						５
洗面器	Ｌ２７０ＤＭ	ＴＥＮ４０ＡＸ，ＴＳ１２６ＡＲ，Ｔ６ＢＭＳ，他付属品共				５																													１						６
洗面器	Ｌ５４６Ｕ	ＴＥＮ４０ＡＸ，ＴＳ１２６ＢＲ，Ｔ７ＳＷ１，他付属品共								２	３																								１						６
洗面器	Ｌ５４６Ｕ	ＴＬＨＧ３０Ｅ、Ｔ７ＳＷ１，他付属品共					２	２																																	４
洗面器	Ｌ５０３ＡＲ	ＴＥＮ８６Ｇ、Ｔ７Ｐ２４Ｒ，Ｍ９ＬＡＳＪ×２，他付属品共		１							１																														２
手洗器	Ｌ３０ＤＭ	ＴＥＮ５０ＡＸ、Ｔ２２ＢＳ、ＴＬ２２０Ｄ、他付属品共	５																																						５
手洗器	ＬＳＬ５７０ＡＰＦ	自動水栓（水のみ）		１								１																														２
手洗器	Ｌ２１０ＣＭ	ＴＥＮ５０ＡＸ，Ｔ６ＢＭＳ，他付属品共											１	１	１	１	２	２	１	１	１	１		１	４	１	２	１	１	１	２	２	１	１		１		１			３１
自動泡石鹸液液供給装置		ＳＤ－１００２Ｆ、シャボネットユ・ムＰ－５（石鹸液、１Ｌ機器用）、電源：１φ１００Ｖ	１０										１	１	１	１	２	２	１	１	１	１		１	４	１	２	１	１	１	２	２	１	１		１		１			４１
ノータッチ式ディスペンサー		ＧＵＤ－１０００－ＰＨＪ、壁取付セット、アルペット手指消毒液（１Ｌ，噴射ポンプ付）乾電池式	１０										１	１	１	１	２	２	１	１	１	１		１	４	１	２	１	１	１	２	２	１	１		１		１			４１
小便器	ＵＦＳ８００ＣＥ									４																															４
掃除流し	ＳＫ２２Ａ	ＴＫ２２Ａ、Ｔ２３ＡＥ２０、ＴＮ１１４Ｘ，Ｔ９ＲＪ，Ｔ３７ＳＥＰ、他付属品共	１	１						１	１																														４
オストメイト対応マルチパック		ＸＰＳＡ７１ＡＷＮ：汚物流し、ＦＶ，水栓、電気温水器、カウンター、化粧鏡、他付属品共										１																														１
ペーパータオルホルダー		ＹＫＴ１００	５			５																													１						１１
ペーパータオルホルダー		ＹＫＴ１００											１	１	１	１	２	２	１	１	１	１		１	４	１	２	１	１	１	２	２	１	１		１		１			３１
化粧鏡	ＹＭ４５６０Ｆ		５			５	２	２		２	３																										２				２１
化粧鏡	ＹＭ６０９０Ｆ			１								１																													２
湯水混合栓	ＴＫＨＧ３１ＰＥ				１				１																																２
湯水混合栓	ＴＫＨＧ３３Ｅ												１	３			１	５		１	２	５	２	３	６	３	３		２	２		３									４２
自在水栓	Ｔ３６Ｓ２０（水）	レバーハンドル																１５																								１５
自在水栓	Ｔ３６ＬＳ２０（湯）	レバーハンドル																１５																								１５
カップリング付水栓	Ｔ２８ＡＮＨ１３	（水又は、湯用）											２	２				４				１０	４	２	４	２		２		８	１０		２			２	４	２	２	２	６２
水栓柱		人研製：１３×６０×９００Ｈ																																				２	２	２	６
散水栓	Ｔ２７ＮＨ１３	ボックス共																																				１			１

特記事項

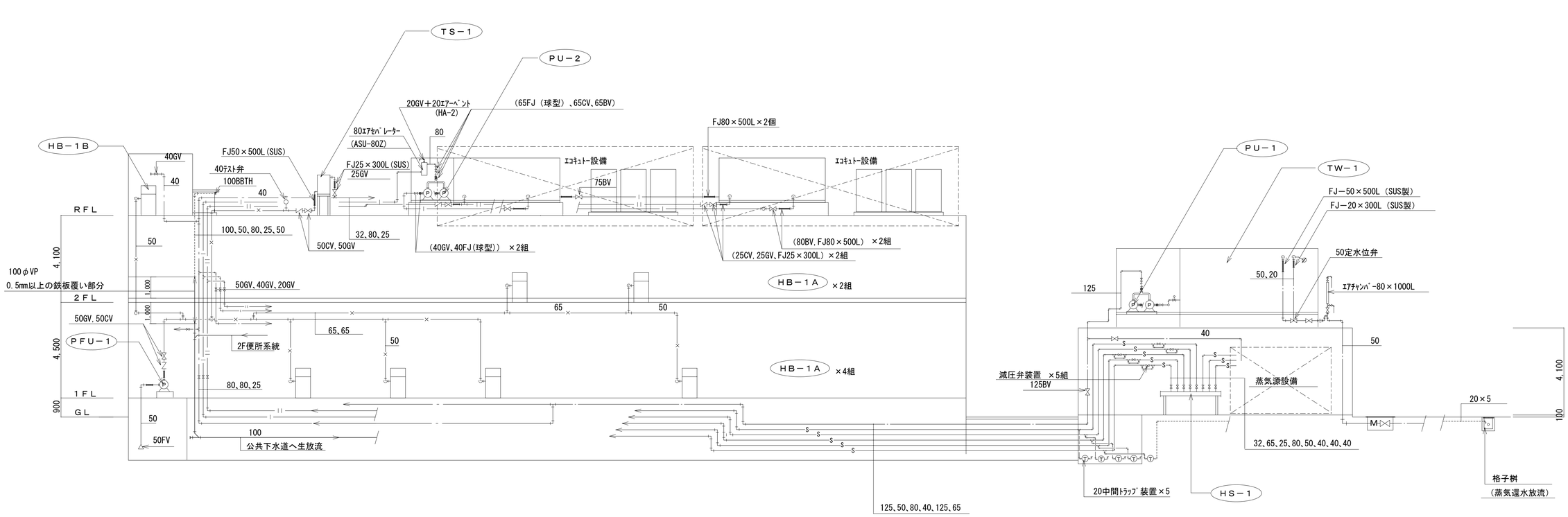
アトリエＢＢＳ株式会社
１級建築士　第159250号　原　澄雄

設計	検図	施設名	行橋市給食センター			P	No. 05
製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事工事	図面名	凡例、器具表	縮　尺	
							２０１２年　３月

機　器　表

記　号	名　　称	型　　式	仕　　様	電　源 ¢　V	台数	備　　考
ＴＷ－１	受　水　槽	２槽式	ステンレスパネル溶接型、気相部ＳＵＳ３２９Ｊ４Ｌ，液相部ＳＵＳ４４４	１¢２００Ｖ	１	蒸気源機械室屋上
		重耐塩仕様	有効６２ｍ３、受水槽：４×６．５×３ｈ、ポンプ室：４．０×３×３ｈ			
			２．０Ｇ、スロッシング対応品、中仕切り共、チャンネル架台（亜鉛ドブ付け）			
			８０Ａ緊急遮断弁×２、制御盤（地震感知器、遮断弁及びポンプ停止回路組込み）			
ＰＵ－１	自動給水装置		推定末端圧一定（インバーター方式）＋自動交互並列運転	３¢２００Ｖ	１	蒸気源機械室屋上
			６５φ×８０φ×１１００Ｌ／ｍｉｎ×３０ｍＡｑ×５．５ＫＷ×２台１組			（ＴＷ－１、機械室内）
			制御盤（外部端子：ポンプ故障×２、受水槽警報（満・減）、			
			外部入力：システムインターロック、外部用電源１φ－２００ｖ－４００ＶＡ）共			
	蒸気源設備		別紙仕様書参照	３¢２００Ｖ	１	蒸気源機械室
ＨＳ－１	高圧蒸気ヘッダー		２００φ×２８５０Ｌ（８０ＳＶ、６５ＳＶ、５０ＳＶ，４０ＳＶ×３、３２ＳＶ、	１¢１００Ｖ	１	蒸気源機械室
			２５ＳＶ、２５ドレーン取出し、圧力計共）、架台共			
	エコキュート設備		別紙仕様書参照	３¢２００Ｖ	１	屋上階
ＰＵ－２	自動給水装置	給湯加圧形	推定末端圧一定（インバーター方式）＋自動交互並列運転	３¢２００Ｖ	１	屋上階
			４０φ×６５φ×４００Ｌ／ｍｉｎ×１０ｍＡｑ×１．１ＫＷ×２台１組、制御盤共			（エコーキュート設備機械室内）

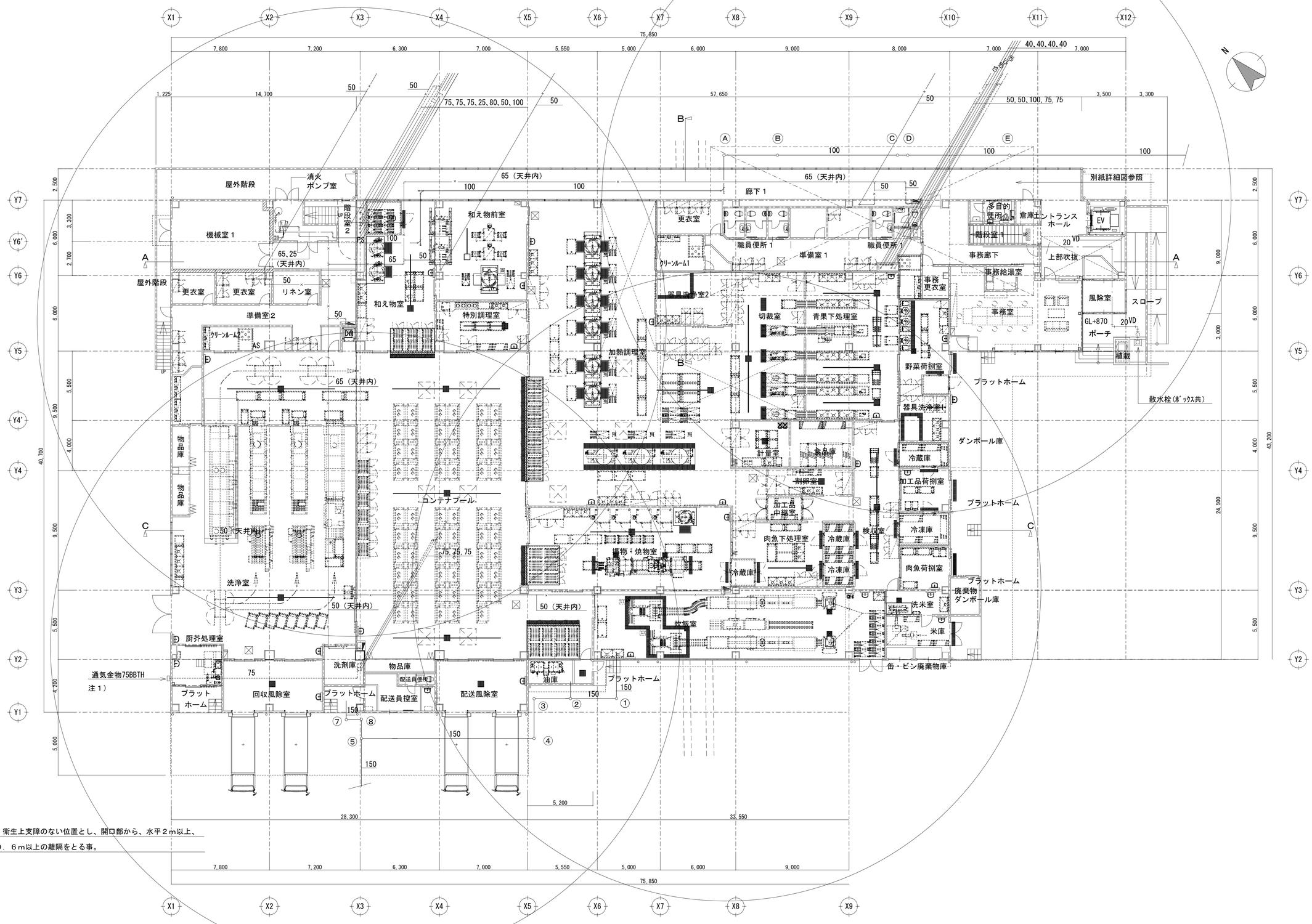
記　号	名　　称	型　　式	仕　　様	電　源 ¢　V	台数	備　　考
ＰＦＵ－１	消火ポンプユニット		屋内消火ポンプ用　５０φ×３００Ｌ／ｍｉｎ×６０ｍＡｑ×５．５ＫＷ×１台、	３¢２００Ｖ	１	１階（消火ポンプ室）
			制御盤、呼水槽、性能試験配管、ｻｸｼｮﾝｶﾊﾞｰ、ﾌｰﾄ弁、50FJ×2、他標準付属品一式			
ＴＦ－１	消火用充水タンク		ステンレス製（ＳＵＳ３０４）、呼称容量２００Ｌ、６００×６００×９００Ｈ、電極座		１	屋上階
			２５Ａボールタップ、１０００Ｈ架台（溶融亜鉛メッキ）、他標準付属品共			
ＨＢ－１Ａ	屋内消火栓箱	（総合形）	埋込形、易操作性１号消火栓、７００×２００×１４００Ｈ		６	１・２階各所
ＨＢ－１Ｂ	屋内消火栓箱	（総合形）	露出形、易操作性１号消火栓、７００×２００×１４００Ｈ		１	屋上階機械室



特記事項

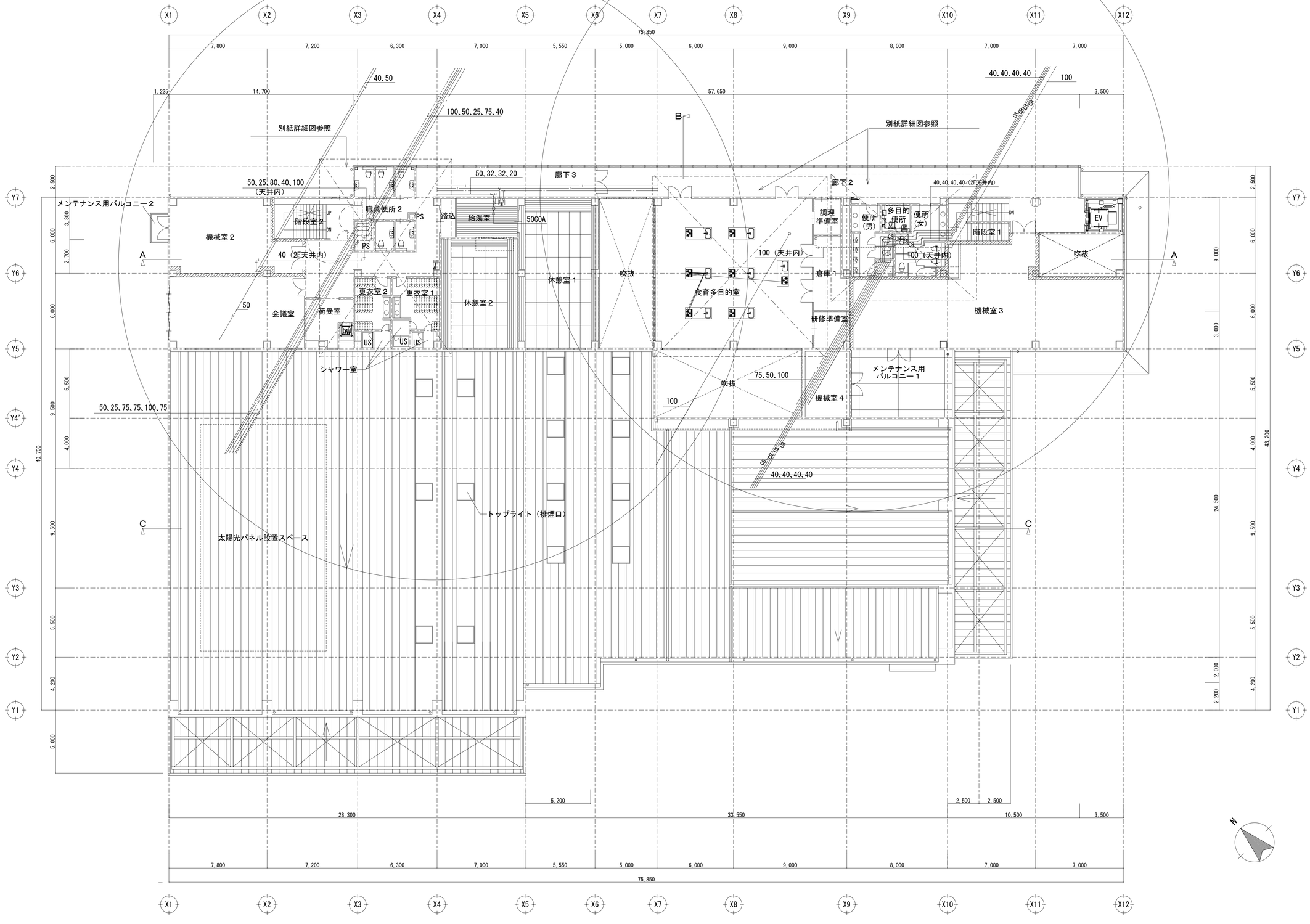
アトリエＢＢＳ株式会社
１級建築士　第159250号　原　澄雄

設計	検図	施設名	行橋市給食センター			P	No. 06
製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事工事	図面名	機器表、系統図	縮　尺	2012年　3月



注１）通気金物は、衛生上支障のない位置とし、開口部から、水平２ｍ以上、
又は、上部０．６ｍ以上の離隔をとる事。

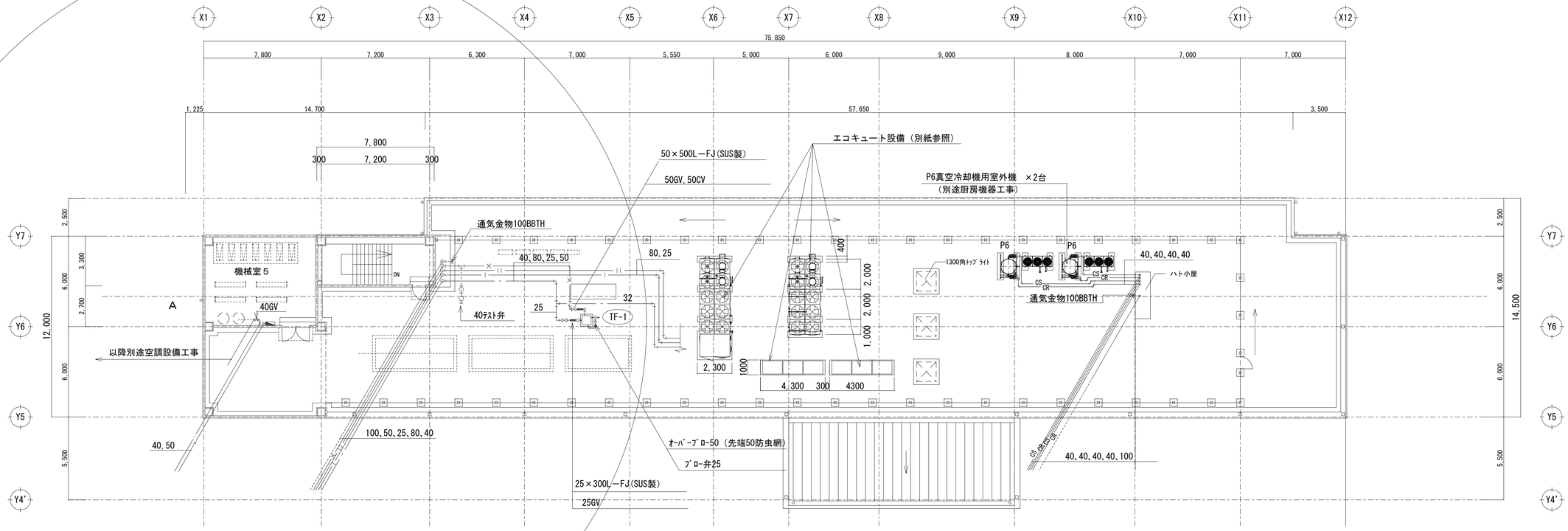
特記事項		アトリエＢＢＳ株式会社 １級建築士　第159250号　原　澄雄	設計	検図	施設名	行橋市給食センター				P	No. 07
			製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事工事	図面名	衛生設備　１階平面図	縮　尺	A1：1/150　A3：1/300	2012年 3月



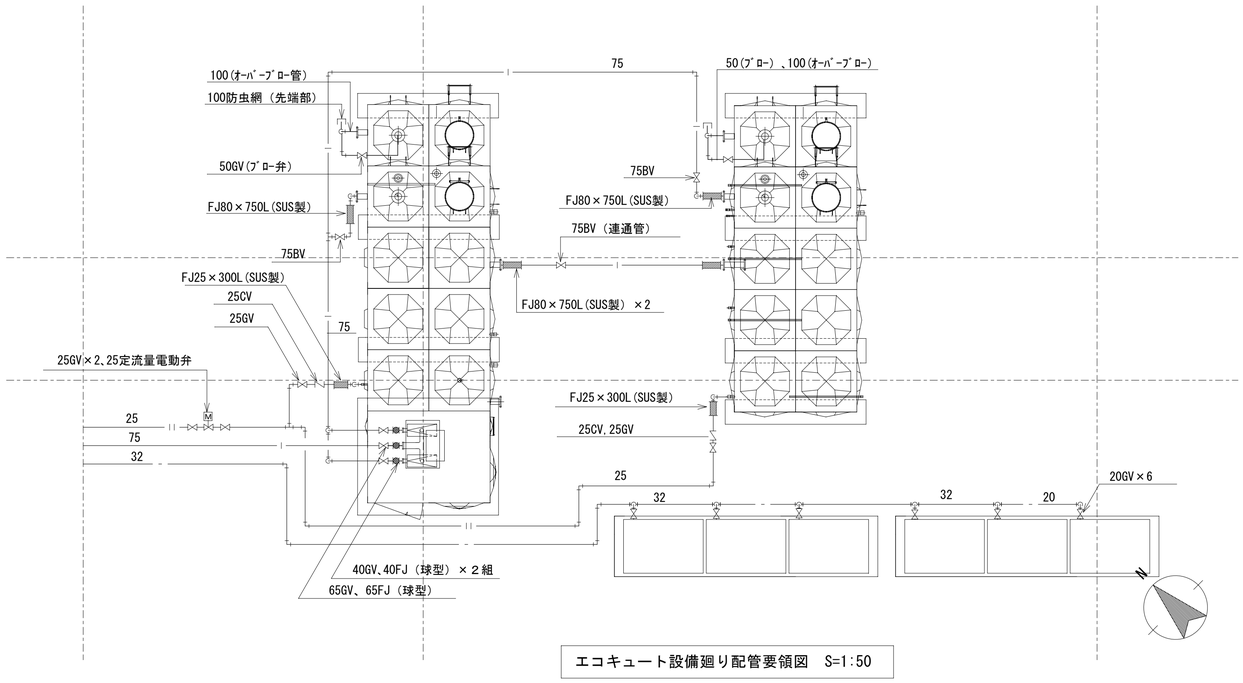
特記事項

アトリエＢＢＳ株式会社
１級建築士　第159250号　原　澄雄

設計	検図	施設名	行橋市給食センター			P	No. 08
製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事工事	図面名	衛生設備　２階平面図	縮　尺	A1：1/150　A3：1/300
							２０１２年　３月



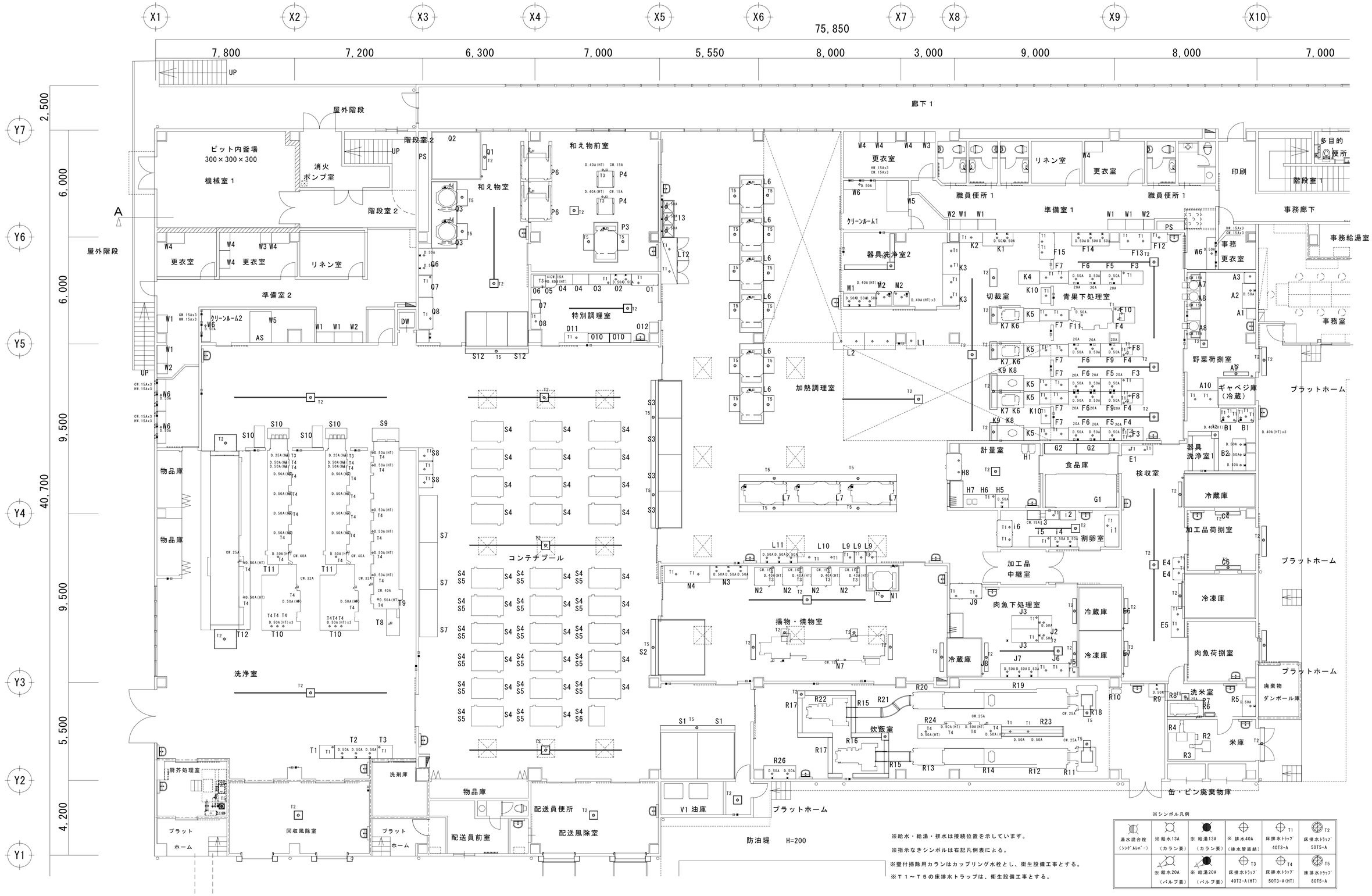
注１）通気金物は、衛生上支障のない位置とし、開口部から、水平２ｍ以上、
　　又は、上部０．６ｍ以上の離隔をとる事。



エコキュート設備廻り配管要領図　S=1:50

特記事項

アトリエＢＢＳ株式会社 １級建築士　第159250号　原　澄雄	設計	検図	施設名	行橋市給食センター				P	No. 09
	製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事工事	図面名	衛生設備　屋階平面図	縮　尺	A1：1/150　A3：1/300	２０１２年　３月



※シンボル凡例

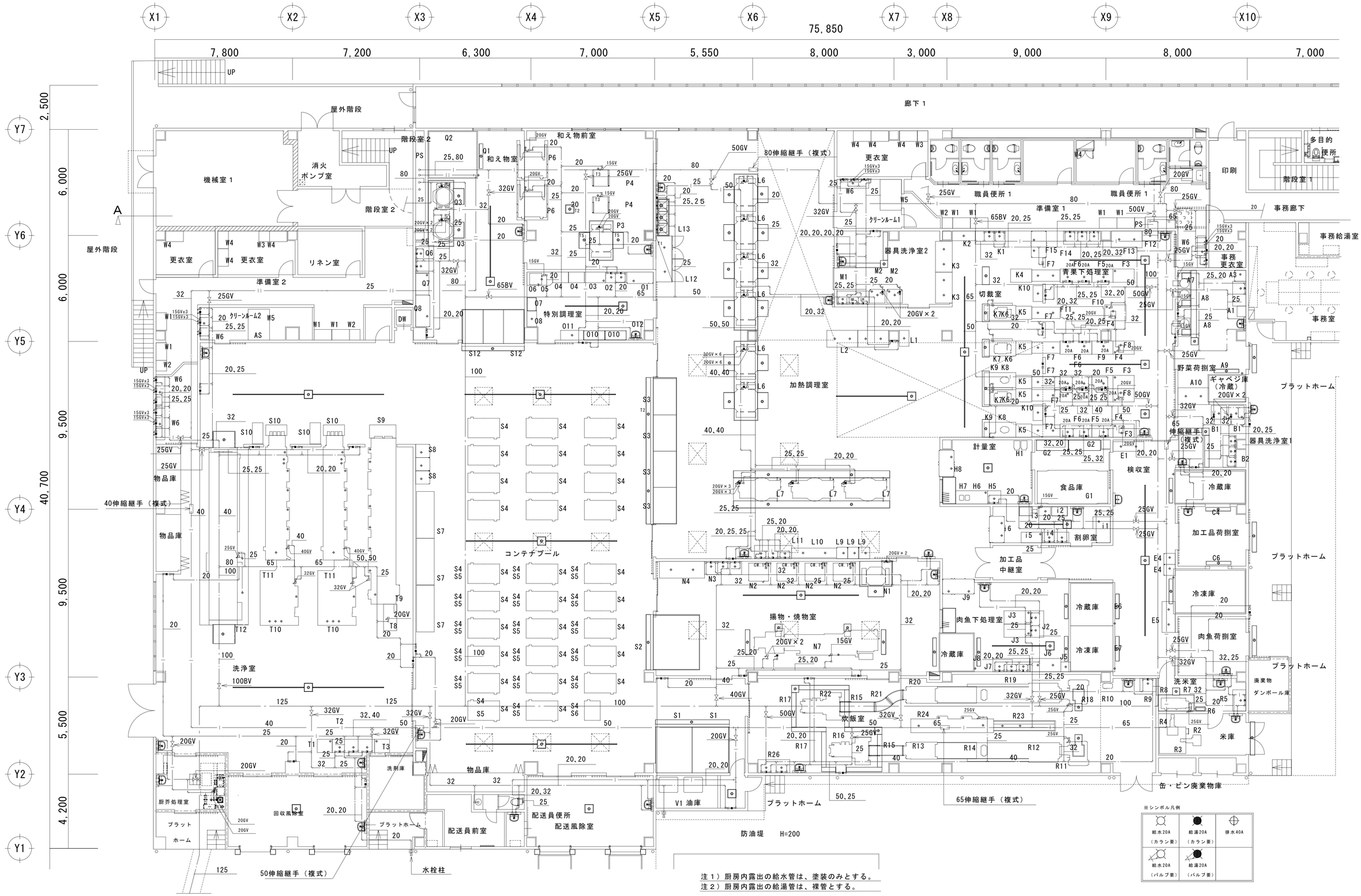
湯水混合栓（ｼﾝｸﾞﾙﾚﾊﾞｰ）	※ 給水13A（カラン要）	※ 給湯13A（カラン要）	※ 排水40A（排水管直結）	T1 床排水ﾄﾗｯﾌﾟ 40T3-A	T2 床排水ﾄﾗｯﾌﾟ 50T5-A
	※ 給水20A（バルブ要）	※ 給湯20A（バルブ要）	T3 床排水ﾄﾗｯﾌﾟ 40T3-A(HT)	T4 床排水ﾄﾗｯﾌﾟ 50T3-A(HT)	T5 床排水ﾄﾗｯﾌﾟ 80T5-A

※給水・給湯・排水は接続位置を示しています。
※指示なきシンボルは右記凡例表による。
※壁付掃除用カランはカップリング水栓とし、衛生設備工事とする。
※Ｔ１～Ｔ５の床排水トラップは、衛生設備工事とする。

特記事項

アトリエＢＢＳ株式会社
１級建築士　第159250号　原　澄雄

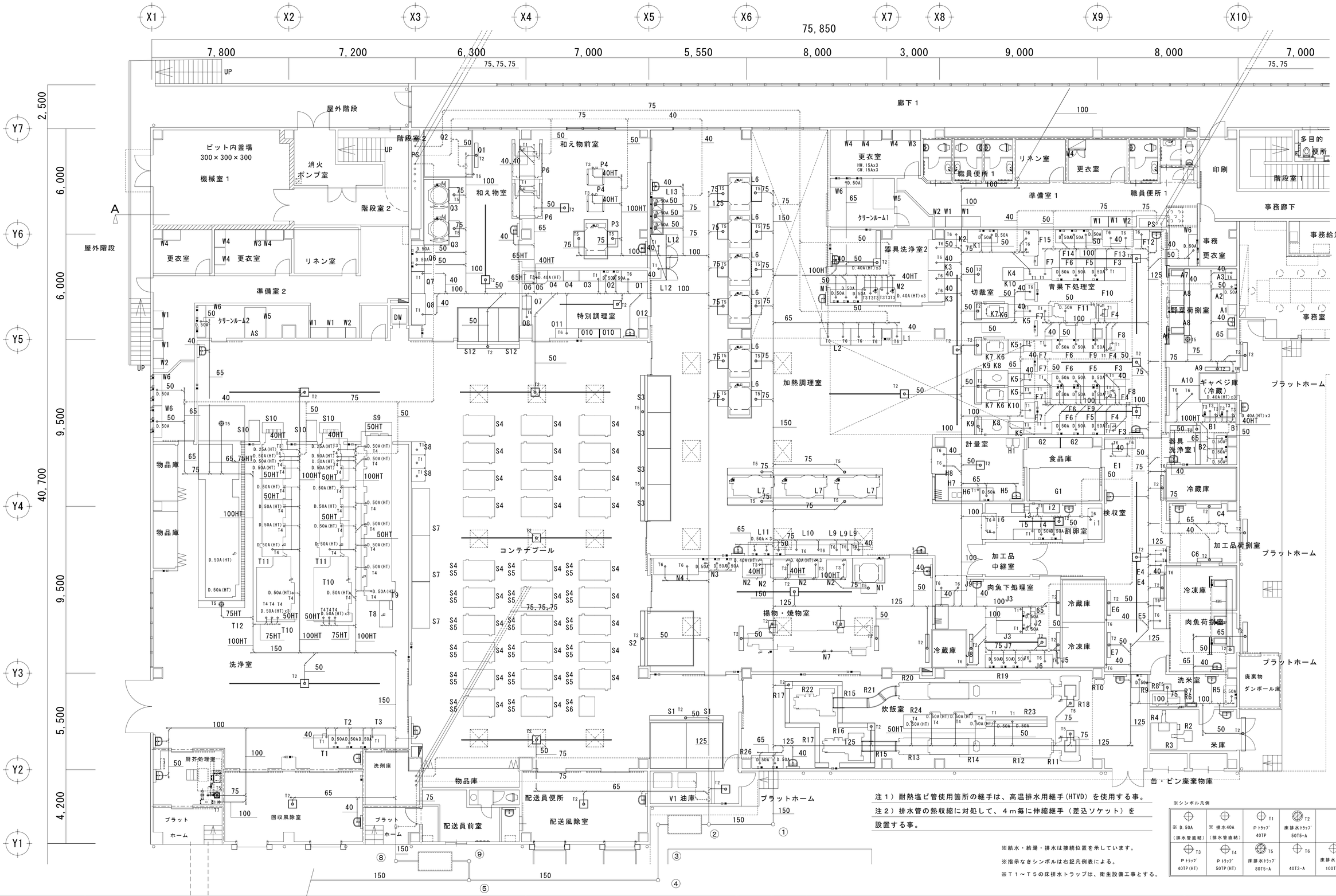
設計	検図	施設名	行橋市給食センター			P	No. 10
製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事工事	図面名	厨房　給排水設備配置図	縮　尺	A1：1/100　A3：1/200
							2012年 3月



注１）厨房内露出の給水管は、塗装のみとする。
注２）厨房内露出の給湯管は、裸管とする。

特記事項

アトリエＢＢＳ株式会社 １級建築士　第159250号　原　澄雄	設計	検図	施設名	行橋市給食センター			P	No. 11
	製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事工事	図面名	厨房　給水・給湯設備配管図	縮　尺	A1：1/150　A3：1/300	２０１２年　３月



注１）耐熱塩ビ管使用箇所の継手は、高温排水用継手(HTVD）を使用する事。
注２）排水管の熱収縮に対処して、４ｍ毎に伸縮継手（差込ソケット）を設置する事。

※給水・給湯・排水は接続位置を示しています。
※指示なきシンボルは右記凡例表による。
※Ｔ１～Ｔ５の床排水トラップは、衛生設備工事とする。

※シンボル凡例

※ D.50A（排水管直結）	※ 排水40A（排水管直結）	T1 Pトラップ 40TP	T2 床排水トラップ 50T5-A	
T3 Pトラップ 40TP(HT)	T4 Pトラップ 50TP(HT)	T5 床排水トラップ 80T5-A	T6 40T3-A	T7 床排水トラップ 100T3-A

特記事項

アトリエＢＢＳ株式会社
１級建築士　第159250号　原　澄雄

設計	検図	施設名	行橋市給食センター				
製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事工事	図面名	厨房　排水設備配管図	縮　尺	A1：1/100　A3：1/200

P　No. 12
２０１２年　３月

RC-1、360H（格子蓋）
RC-1、320H（格子蓋）
RC-1、300H（格子蓋）

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10

75,850
7,800 7,200 6,300 7,000 5,550 8,000 3,000 9,000 8,000 7,000

Y7 Y6 Y5 Y4 Y3 Y2 Y1
2,500 6,000 6,000 9,500 9,500 5,500 4,200
40,700

UP
100 SR 100 SR
32 15高圧トラップ装置+15CV
既設水路に放流
廊下１
20管末ﾄﾗｯﾌﾟ装置 +20CV
40GV×2（冷水）
20SV 消費量＝24kg/h
蒸気圧力：0.25MPa
屋外階段
32,32
階段室２
ピット内釜場 300×300×300
機械室１
消火ポンプ室
階段室２
和え物室
和え物前室
40
32
CR CS
P6 P4 P3
15高圧トラップ装置+15CV
40GV×2（冷水）
20SV 消費量＝24kg/h
蒸気圧力：0.25MPa
32,32,32
SR S
L13 L12
40,40
40,40
W4 W4 W4 W3
更衣室
W5 W6
クリーンルーム1
器具洗浄室2
M1 M2 M2
W4 W4 W3 W4
更衣室 更衣室 リネン室
準備室２
クリーンルーム2
W1 W5 W1 W1 W2
W6
AS
DW
K2 K1
K3
K4 K10
K5 K7 K6
K9 K8
F15 F14 F13 F12
F7 F6 F5 F3
F10 F11 F4 F8 F9
切裁室
青果下処理室
L1 L2
加熱調理室
特別調理室
011 012 010 010
S12 S12
32,32
S3 S4 S5 S6 S7 S8 S9 S10
コンテナプール
40伸縮継手（複式）
W4 W4 W4 W3
更衣室
W6 W5
W2 W1 W1
職員便所１
準備室１
W1 W1 W2
職員便所１
PS
40,40,40,40
印刷
多目的便所
階段室１
事務廊下
事務更衣室
事務給湯室
事務室
A3 A2 A1 A8 A7
野菜荷捌室
A9 A10
ギャベジ庫（冷蔵）
ブラットホーム
B1 B1 B2
器具洗浄室1
検収室
計量室
食品庫
G2 G2 G1
H1 H8 H7 H6 H5
E1
冷蔵庫
C4
加工品荷捌室
C6
E4 E4
冷凍庫
E5
E6
E7
肉魚荷捌室
ブラットホーム
廃棄物ダンボール庫
洗米室
R8 R7 R6 R5
米庫
R3 R2
缶・ビン廃棄物庫
i1 i2 i3 i4 i5 i6
剖卵室
加工品中継室
肉魚下処理室
J9 J3 J2 J7 J6 J5 J8
N4 N3 N2 N2 N2 N2 N1
揚物・焼物室
（廃油配管）
（新油配管）
N7
炊飯室
R20 R19 R22 R15 R21 R17 R24 R23 R16 R26 R18 R10 R9 R11 R13 R14 R12
S1 T5 T2 T3 T1
洗剤庫
物品庫
配送員便所
配送風除室
配送員前室
厨芥処理室
回収風除室
ブラットホーム
V1 油庫
防油堤 H=200
ブラットホーム
既設水路に放流
RC-2、770H（格子蓋）
RC-2、700H（格子蓋）
物品庫
40SV 消費量＝400kg/h
蒸気圧力：0.4MPa
25管末ﾄﾗｯﾌﾟ装置+25CV
40SV 消費量＝280kg/h
蒸気圧力：0.2MPa
32管末ﾄﾗｯﾌﾟ装置+32CV
40SV消費量＝280kg/h
蒸気圧力：0.2MPa
40SV 消費量＝350kg/h
蒸気圧力：0.2MPa
40CDC
32SV 消費量＝240kg/h
蒸気圧力：0.2MPa
洗浄室
ｽﾗﾘｰ管40VP
32SV消費量＝240kg/h
蒸気圧力：0.2MPa
40CDC
20高圧中間ﾄﾗｯﾌﾟ装置＋20CV×3組
50伸縮継手（複式）
25高圧トラップ装置+25CV
25高圧トラップ装置+25CV
25高圧トラップ装置+25CV
25SV 消費量＝210kg/h 蒸気圧力：0.3MPa
25SV 消費量＝210kg/h 蒸気圧力：0.3MPa
25管末ﾄﾗｯﾌﾟ装置+25CV
25SV 消費量＝210kg/h 蒸気圧力：0.3MPa
20SV 消費量＝20kg/h 蒸気圧力：0.2MPa
20SV消費量＝120kg/h 蒸気圧力：0.2MPa
15高圧トラップ装置+15CV
20SV消費量＝20kg/h
15高圧トラップ装置+15CV 蒸気圧力：0.2MPa
20管末ﾄﾗｯﾌﾟ装置+20CV
65,125,40,80,50

※シンボル凡例
蒸気（バルブ要） 冷却水（バルブ要）

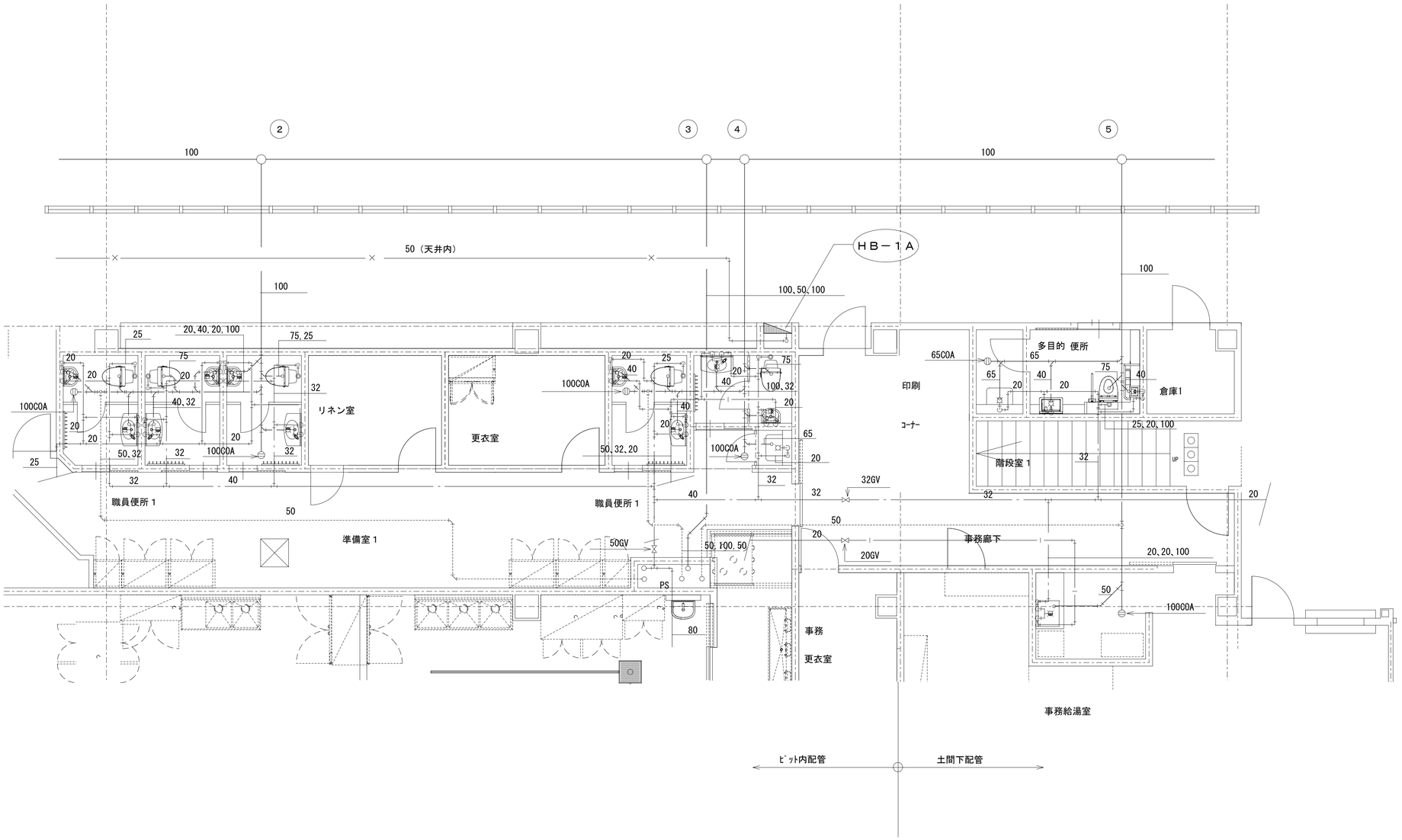
注１）厨房内の屋内露出蒸気管は、やけどの恐れの有る部分以外は、塗装のみとする。
注２）—CS— —CR— は、冷水管を示し、配管用炭素鋼鋼管（白）で、施工とする。（保温共）

特記事項

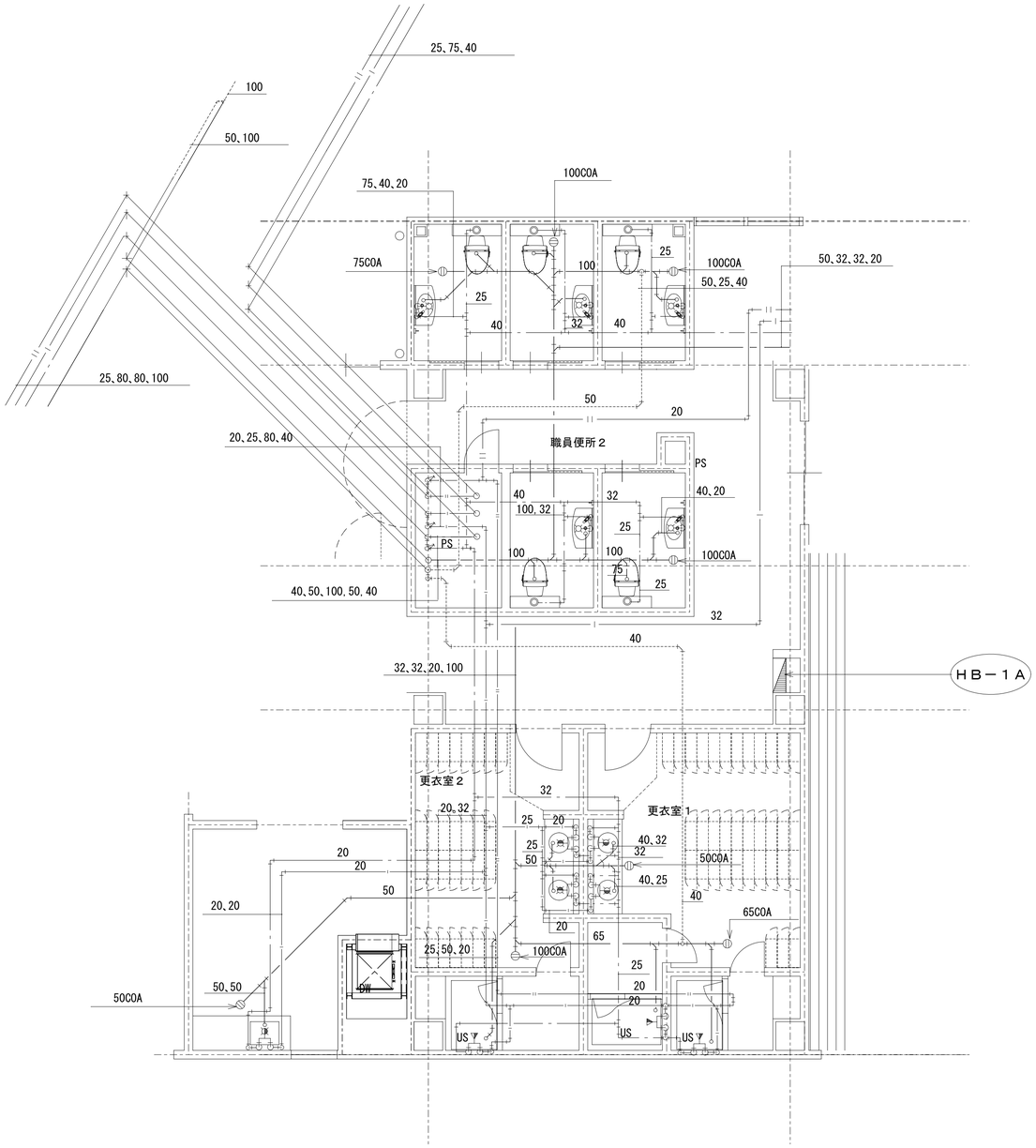
アトリエＢＢＳ株式会社
１級建築士 第159250号 原 澄雄

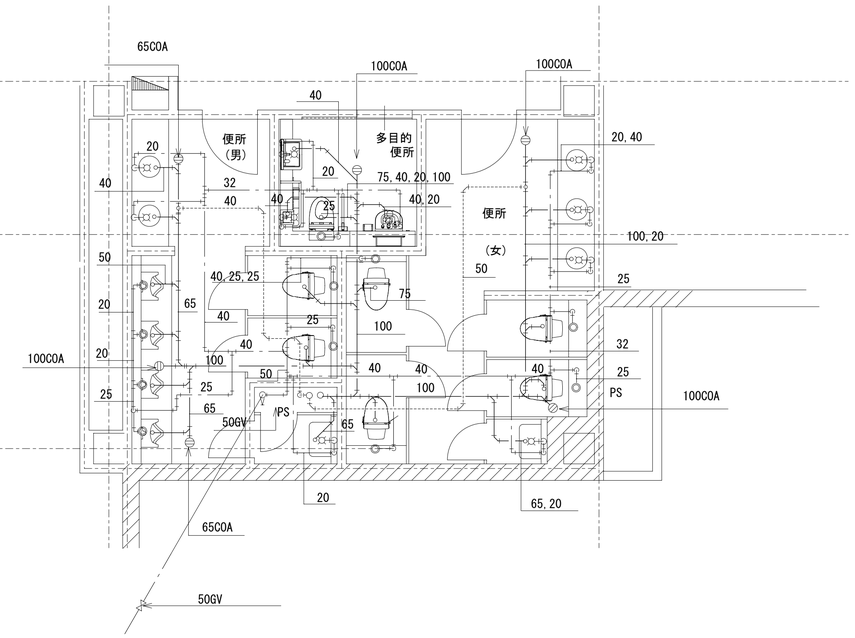
設計	検図	施設名	行橋市給食センター			P No. 13
製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内 給排水衛生設備工事工事	図面名	厨房 給蒸設備配管図	縮尺 A1：1/100 A3：1/200

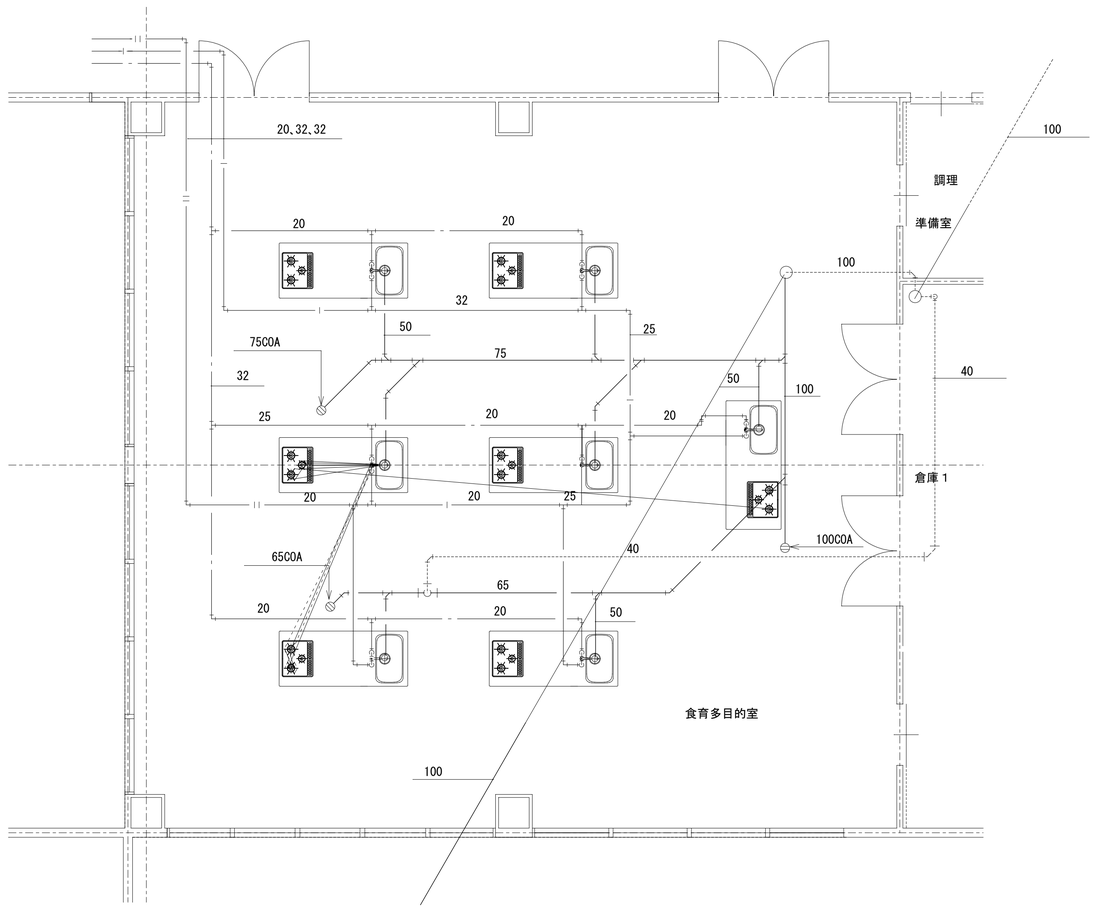
2012年 3月



特記事項		アトリエＢＢＳ株式会社 １級建築士　第159250号　原　澄雄	設計	検図	施設名	行橋市給食センター				P	No. 14
			製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事工事	図面名	衛生設備　１階便所詳細図	縮　尺	A1：1/50　A3：1/100	２０１２年　３月







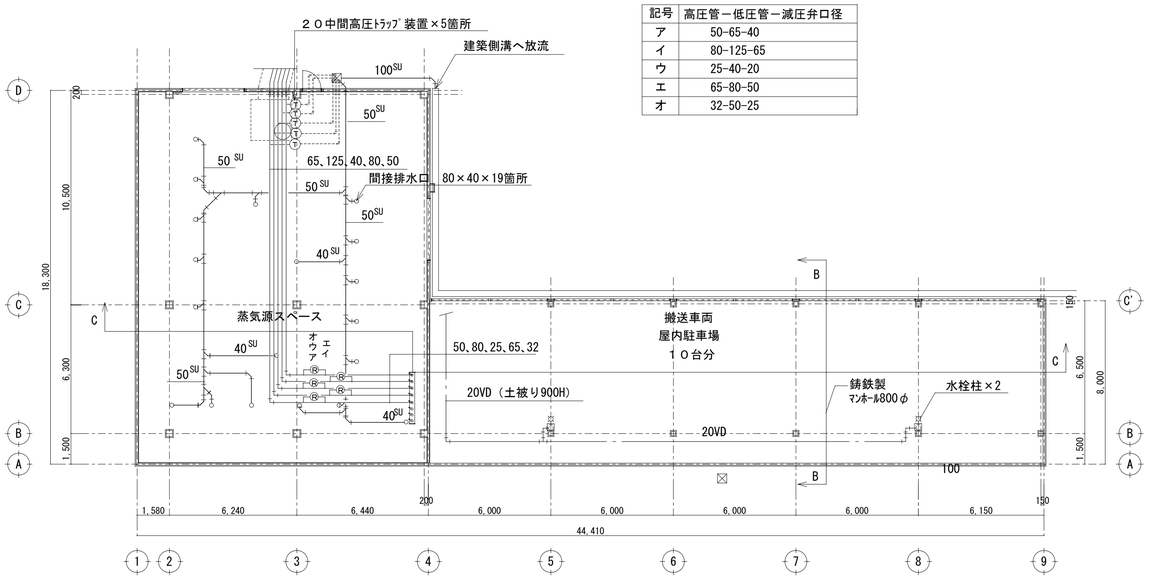
特記事項

アトリエＢＢＳ株式会社
１級建築士　第159250号　原　澄雄

設計	検図	施設名	行橋市給食センター				P	No. 15
製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事工事	図面名	衛生設備　２階便所・食育多目的室詳細図	縮　尺	A1：1/50　A3：1/100	２０１２年　３月

減圧弁装置

記号	高圧管－低圧管－減圧弁口径
ア	50-65-40
イ	80-125-65
ウ	25-40-20
エ	65-80-50
オ	32-50-25

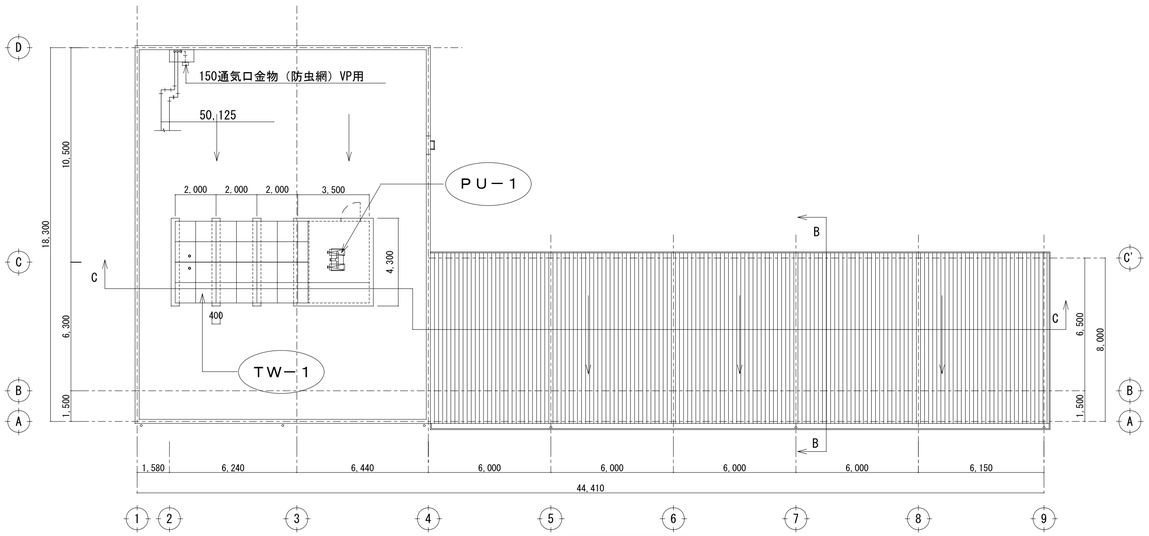


１階平面図

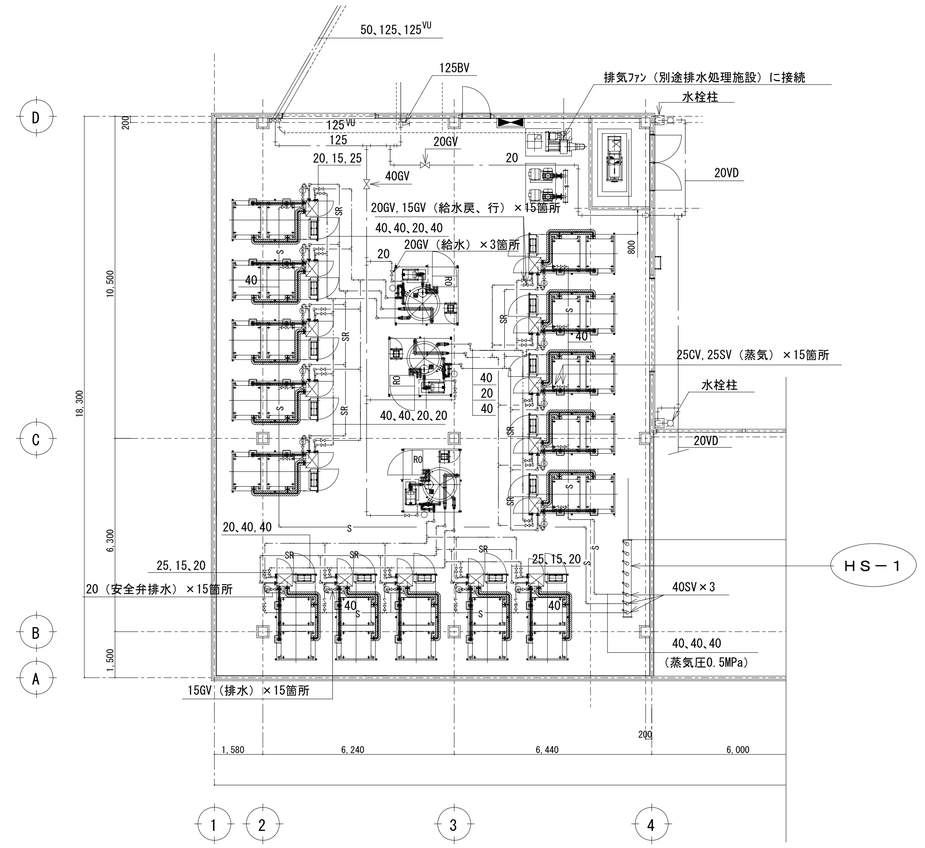
注１）蒸気源機械室の排水管は、一般用ステンレス鋼管（溶接）とする。

注２）蒸気源設備の給水タンク～蒸気源間の２次側給水管及び還水管（返り）は、一般用ステンレス鋼管（溶接）とする。

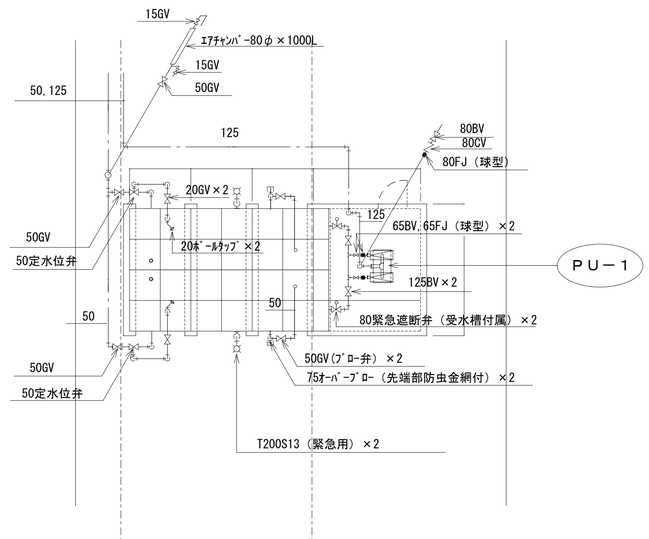
注３）蒸気源設備の給水タンク～蒸気源間の２次側給水管及び還水管（返り）は、蒸気管と同様の保温を行う事。



R階平面図



蒸気源機械室詳細図　Ｓ＝1:100

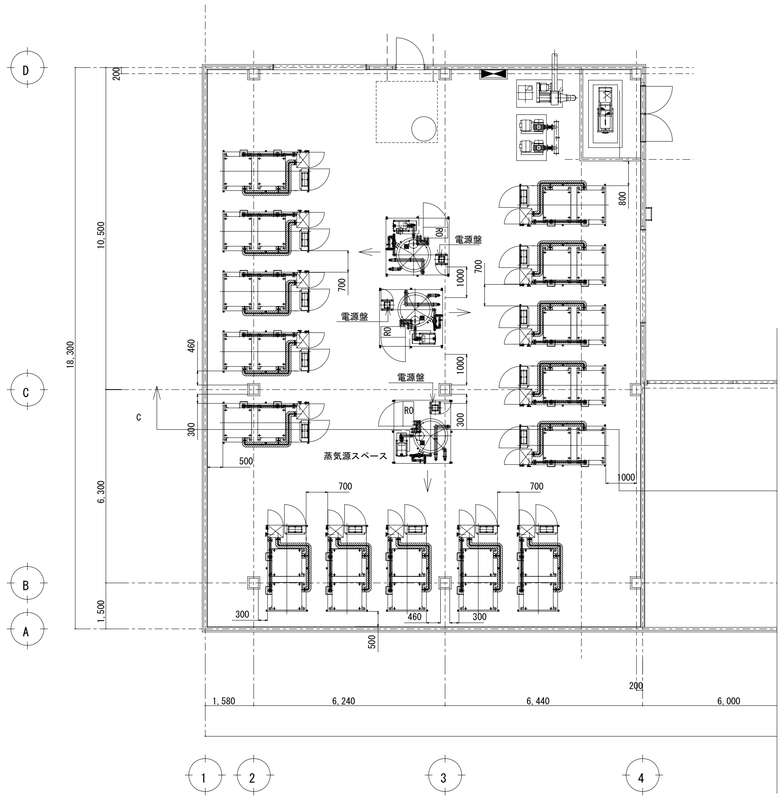


受水槽廻り詳細図　Ｓ＝1:100

特記事項

アトリエＢＢＳ株式会社
１級建築士　第159250号　原　澄雄

設計	検図	施設名	行橋市給食センター		A1：1/150　A3：1/300	P	No. 16
製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事工事	図面名	衛生設備　車庫・蒸気源機械室平面図	縮　尺	A1：1/100　A3：1/200	2012年　3月	



１階平面図

蒸気源仕様書

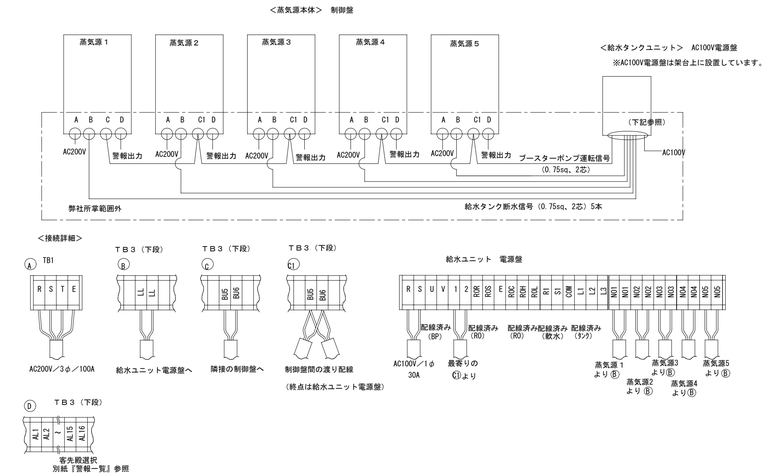
形式：HTS-300-M
適用：簡易ボイラー
ヒーター容量：27kW
蓄熱消費電力量：240kWh
定格飽和蒸気圧：0.3～0.5MPa
最大蒸気出力：150kg/h
最大換算蒸発量：300kg
出熱効率：73%（連続出熱の場合）

使用電源：本体（1台）---3相AC200V、100A
　　給水ユニット（1台）---1相AC100V、30A
外形寸法：本体（1台）---W1550×D2810×H1870mm
　　給水ユニット（1台）---W1850×D2060×H1860mm
総重量：本体（1台）---3850kg
　　給水ユニット（1台）---1500kg（水を含んだ稼働重量）

制御盤結線図及び制御説明

制御盤と給水ユニット電源盤との電気配線
（配線工事は弊社所掌外）

制御盤電源：　3相AC200V
給水ユニット電源：　1相AC100V
警報：一括警報（端子：AL13／AL14）
信号線：ブースターポンプ信号線、
　　給水タンク断水信号線



蒸気源設備工事範囲

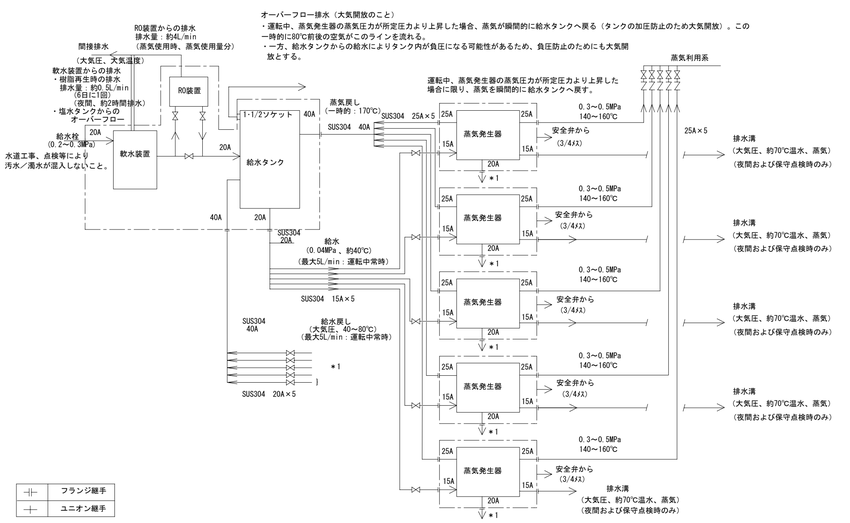
蒸気源本体と給水ユニットの配管

・点線枠内の蒸気源本体、給水ユニット部分のみ弊社所掌範囲

・蒸気源本体と給水ユニットを繋ぐ配管材質は全てSUSとする。

・蒸気利用系の各蒸気源からの配管には逆止弁、ストップバルブを設置すること。

・厨房機器までの配管には減圧弁を設置すること。
また、ドレンが滞留しないよう勾配を設け、
ドレントラップを設置すること。



※ ┌ ┐ 内は弊社所掌範囲を示す。

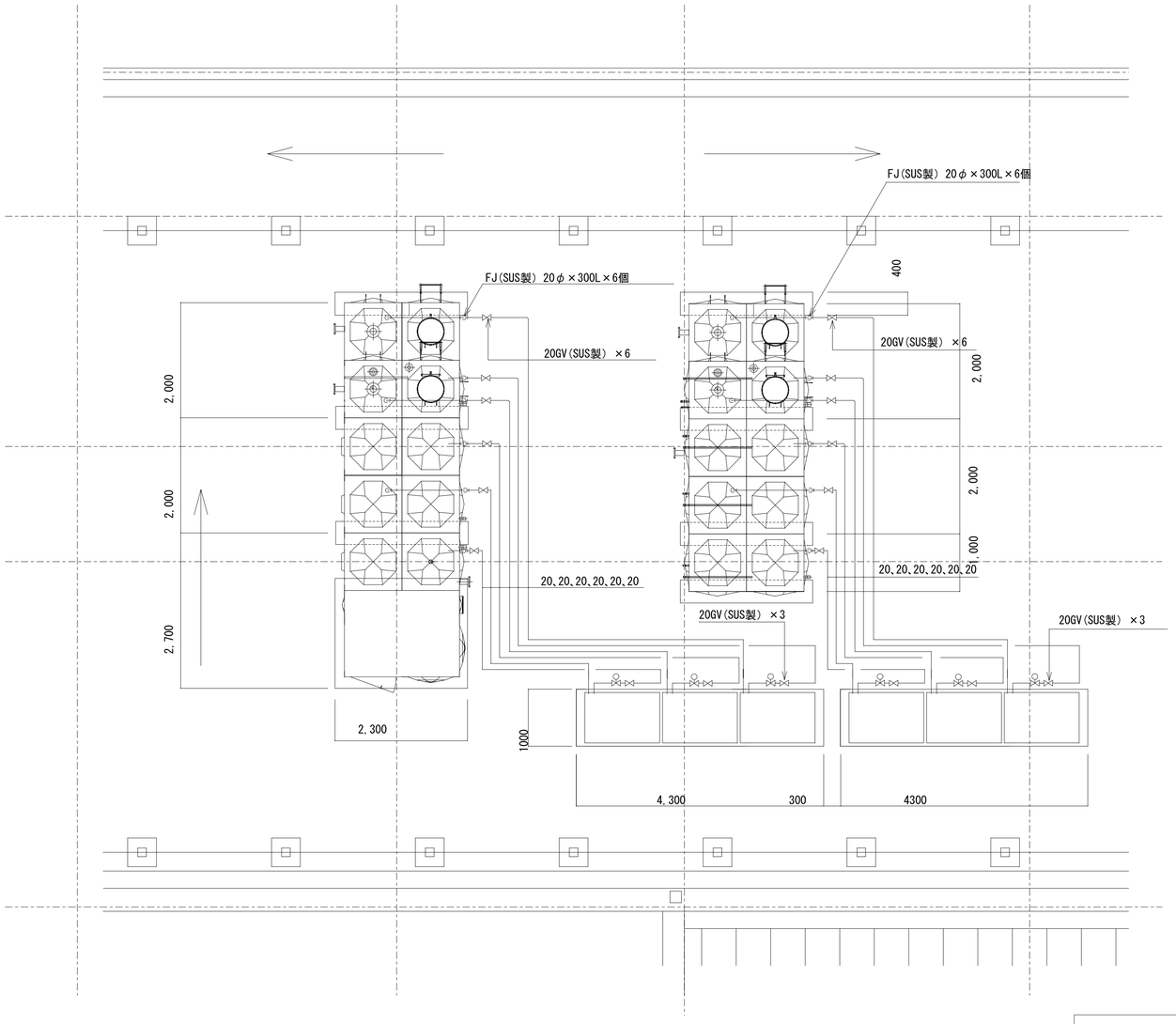
※蒸気源15台の場合、上記の組み合わせ（蒸気発生器5台＋給水ユニット1台）が3組で構成されます。

蒸気発生器からのブロー
・熱交換器に残留した水を夜間蓄熱開始（22時から）のタイミングで排水する（約5L、約70℃温水）。
・保守点検（配管締め直しなど）の際、系内の圧力開放のため本ブローラインより蒸気を排出する。

特記事項

アトリエＢＢＳ株式会社
１級建築士　第159250号　原　澄雄

設計	検図	施設名	行橋市給食センター				P	No. 17
製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事工事	図面名	蒸気源設備図	縮　尺	A1：1/100　A3：1/200	２０１年　３月



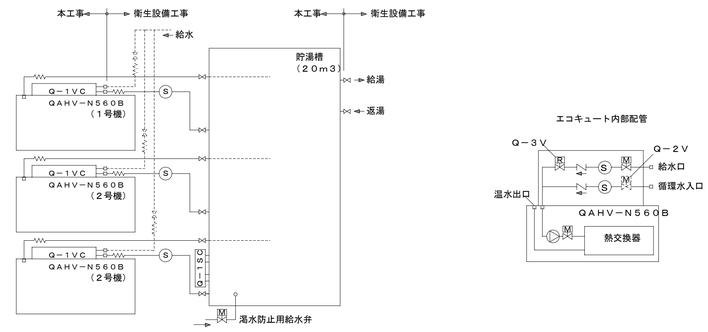
機　器　表　　×２組

名　　称		数量	備　考
業務用エコキュート	(貯湯運転) 定格加熱能力40.0kw　水流量11.9L/min 消費電力9.76kw	3	
（重耐塩仕様）	(保温運転) 加熱能力15.8kw　水流量17.0L/min 消費電力10.2kw		
	電源 3φ200v SUS製循環ポンプ内臓　冷媒CO2 (R744)		
	製品重量445kg		
貯湯槽	溶接組立形ステンレスパネルタンク(SUS444) 呼称容量20m3(2000×5000×2000H)	1	
（重耐塩仕様）	保温厚：60mm　外装：アルミ　耐震：1.5G		
	製品重量1,130kg＋受台410kg　運転重量17,450kg		
給湯配管	配管材料：ステンレス管　保温厚：30mm　外装：ガルバニューム鋼板	1	衛生設備工事
入水配管セット	Q-1VC	3	本工事
電動弁	Q-2V	3	〃
貯湯槽用貯湯量センサ	Q-1SC	1	〃
遠方表示用無電圧接点基板	Q-2SB　(給湯ポンプとの配線は別途工事)	1	〃
試運転		1	〃
給湯リモコン	RP-80A	1	付属品（取付別途）
機器コンクリート基礎		1	衛生設備工事
一次側電気工事	接地工事共	1	〃
遠隔制御配管配線工事	（ユニット内配線は本工事）	1	〃
給水、ドレン配管工事	溢水配管共	1	〃
減圧弁	Q-3V（８０ｋＰａ設定）	3	本工事
湯水防止用給水弁		1	〃

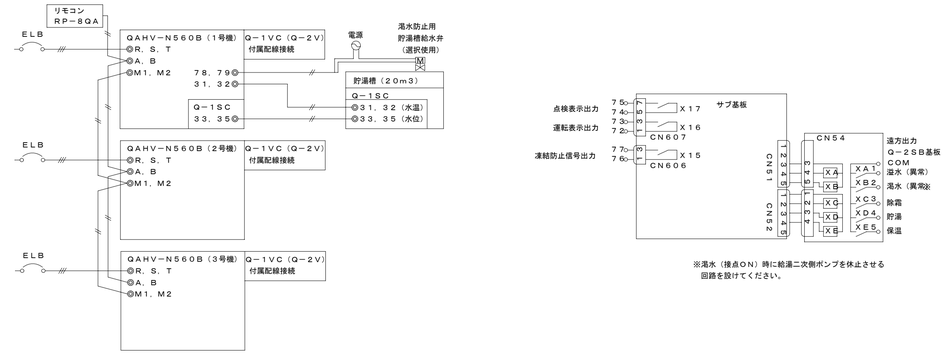
機　器　表　　×１組

ポンプ室	溶接組立形ステンレスパネル(SUS444) 呼称容量6m3(2000×1500×2000H)、扉共	1	本工事

配管系統図



電気系統図



特記事項

アトリエＢＢＳ株式会社
１級建築士　第159250号　原　澄雄

設計	検図	施設名	行橋市給食センター			No.
製図	担当	工事名	行橋市給食センター建設事業の内　給排水衛生設備工事工事	図面名	エコキュート設備図	縮　尺　A1：1/50　A3：1/100	P　18
						2012年　3月